

富山大学 教養教育院

令和7年度

授業評価アンケートの分析

【Web公開用】

Faculty Development Report

FD

REPORT

Liberal Arts and Sciences at **University of Toyama**

目 次

	ページ
・ はじめに	・・・ 1
・ 「学生による授業評価アンケート結果」と教員からの「アンケート結果に対するコメント・改善策等」についての分析	
① 人文科学系	・・・ 2
② 社会科学系	・・・ 2
③ 自然科学系	・・・ 3
④ 理系基盤教育学系	・・・ 3
⑤ 医療・健康科学系	・・・ 4
⑥ 総合科目系	・・・ 5
⑦ 外国語系	・・・ 5
⑧ 保健体育系	・・・ 5
⑨ 情報処理系	・・・ 6
・ 令和7年度学生による授業評価アンケート集計表	・・・ 8
・ 参考資料 学生による授業評価アンケート設問	・・・ 46

はじめに

近年、生成 AI の急速な普及は、教育の在り方にも大きな変化をもたらしている。本学にも、高校時代から生成 AI に触れ、情報の収集・整理や文章作成、学習上の疑問の解消などに活用してきた学生が入学するようになった。こうした新たな技術の普及を背景として、学生の学習姿勢や学習行動はこれまでにない速さで変化し、大学での学びや授業に対する期待も、ますます多様化しているものと考えられる。このような変化の実態を、教員が日々の授業だけから十分に捉えることは容易ではない。だからこそ、学生が授業をどのように受け止め、何を学び、どのような点に難しさを感じているのかを、授業評価アンケートを通して継続的かつ丁寧に把握し、授業改善につなげていくことが重要となる。

本報告書では、令和 7 年度に実施した授業評価アンケートについて、アンケート結果および担当教員から寄せられたコメント等を踏まえた講評を 9 つの系（人文科学系・社会科学系・自然科学系・理系基盤教育系・医療健康科学系・総合科目系・外国語系・保健体育系・情報処理系）ごとに掲載するとともに、アンケート集計表を収録している。本年度の授業評価アンケートの結果については、全体としてほぼすべての項目でスコアの向上が見られた。これは、教員と学生の双方が授業に真摯に向き合い、取り組んできた成果であると考えられる。

一方で、授業評価アンケートの回収率が低下したことは、大きな課題である。回収率の低下は、学生全体の意見を十分に反映することを難しくし、アンケート結果の信頼性に影響を及ぼす可能性がある。授業評価アンケートは、単に授業を評価するためのものではなく、急速に変化する教育現場において、学生の意見を把握し、授業内容や教育方法の改善につなげるための重要な取組である。その意義を、教員と学生の双方に改めて共有していく必要がある。

回収率の高い授業を担当する教員への調査からは、授業時間内にアンケートへの回答時間を設けることが、回収率の向上に有効であることが明らかとなった。学期末は、授業のまとめや試験準備などで時間的な余裕が少なく、授業内で回答時間を確保することが容易ではない場合も多い。しかし、より多くの学生の意見を授業改善に反映するためには、可能な限り授業内で回答時間を確保するよう、教員に協力を求めていくことが重要である。

さらに、令和 8 年度からのクォーター制への移行に伴い、授業評価アンケートの実施回数はこれまでの倍となる。実施機会の増加により、学生にいわゆる「アンケート疲れ」が生じ、回答率や回答内容への影響も懸念される。こうした中で継続的に有効な回答を得るためには、授業内で回答時間を確保するなどの取組に加え、学生自身がアンケートに回答する意義を実感できるようにすることも重要である。本学では、授業評価アンケートの結果を踏まえた教員からのコメントを学生に公開している。こうしたコメントをより充実させ、自らの意見が授業改善に活かされていることを学生が実感できるようにすることは、アンケートに回答する意義への理解を深め、継続的な回答を促すことにもつながると考えられる。

本報告書が、授業評価アンケートの意義を改めて共有し、その結果を授業改善へとつなげる取組をさらに進める契機となることを期待したい。

令和 8 年度教養教育院教育改善推進委員会
委員長 山岸 倫子

「学生による授業評価アンケート結果」と「アンケート結果に対するコメント・改善策等」についての分析

令和7年度の「学生による授業評価アンケート」について、そのアンケート結果に加え、それに対する授業担当教員からの「アンケート結果に対するコメント・改善策等」について、教育改善に資する要因を探るために教育改善推進委員会において分析を行った。分析は9つの系それぞれに対して行い、系ごとの特色の調査を行った。以下に9つの系についての分析結果を示す。

① 人文科学系

人文科学系科目は前期に34コマ開講され、履修者数の総数は3379名であった。後期には25コマ開講され、履修者数の総数は2577名であった。1クラスあたりの平均履修者数は、前期100.9名（最多196名、最少2名）、後期103.08名（最多197名、最少19名）となっている。アンケートの回答率は前期に45.8%（最多100%、最少4.5%）、後期に38.1%（最多63.3%、最少10.9%）で、総合満足度は前期平均4.38、後期平均も4.38という結果であった。

上記の学生アンケート結果に対して、教員からどのような自己分析コメントが寄せられているか、一部を引用すると、

「丁寧な説明と双方向的なやりとりを心がけて」

「入門的な文献をより多く紹介することで、学生が授業を受けた後も継続的に勉強することができるように」

とあり、学生の学びに貢献できるように、学生が自ら学んでいけるように、教員は授業を展開していることが理解される。また複数の教員によって実施される科目については、

「授業に招いているゲストスピーカーに、事前に授業の目的や達成目標を明確に示し、それに見合った授業の内容や進め方を依頼した」

とあり、学生が戸惑うことなく授業に取り組めるように、教員間で情報共有が図られていることが知られる。さらにこれからに向けて、

「学生どうして授業内容を確認しあう時間を授業中に作りたい。そのためにグループワークの扱いを工夫したい」

とあり、教員の熱意によって授業運営の方法に工夫が重ねられていることがわかる。

学生と教員によって創られる授業とは、上記の教員のたゆまぬ努力を土台として成り立ち、維持されていることが理解される。

② 社会科学系

令和7年度の社会科学系科目は、前後期を合わせて45科目が開講された。授業に対する総合満足度（Q15）の平均値は4.33であり、全体として学生から高い評価を得ている。個々の設問をみても、Q3からQ15までのすべての項目で平均値が4.0を上回っており、社会科学系科目の授業内容および授業運営について、概ね肯定的に受け止められていることが確認できる。

とりわけ高い評価を示したのは、「この授業の開始前にシラバスを読んだ」（Q4:4.63）、「板書、プロジェクター、プリント等の説明補助手段は授業内容の理解に役立った」（Q8:4.53）、「授業中は集中できる環境が維持されていた」（Q9:4.49）であった。また、「この授業の内容はシラバ

スに書かれているとおりだった」(Q5: 4.48) も高い値を示している。これらの結果から、授業内容が事前に適切に提示され、それに沿った授業運営や教材提示、学習環境の整備が行われていたことがうかがえる。

一方で、「この授業の分野に対する興味関心が増した」(Q13: 4.17) および「この授業を全体として理解できた」(Q14: 4.19) は、いずれも肯定的な評価ではあるものの、他の項目と比較するとやや低い値となっている。社会科学系では、法学、経済学、経営学、社会学など多様な領域を扱い、社会の制度や現象を理解するために抽象的な概念や専門的知識を必要とする科目も少なくない。今後は、こうした知識を現実の社会問題や学生自身の生活経験と結びつける工夫をさらに進めることにより、理解の深化と学問分野への関心の向上につなげていくことが期待される。

なお、アンケートの回答率には科目間で差がみられるため、個々の数値の解釈には一定の留意が必要である。今後も回答率の向上を図りながら、学生から得られた評価を授業内容・授業方法の継続的な改善に活用していくことが望まれる。

③ 自然科学系

令和7年度の自然科学系科目は前後期を合わせて23科目が開講された。1科目あたりの履修者数は平均90名（最小9名、最大150名）で、100名以上の大規模クラスが10クラス、一方で20名以下の小規模クラスが2クラスであった。総合満足度は平均値4.14（最大値4.76、最小値3.00）であった。授業満足度の平均値は令和3年度の4.01→令和4年度の4.02→令和5年度の4.24→令和6年度の4.27と推移しており4.00以上を維持している。回答者が30%以下の科目がいくつかあり、それらを含めたスコアであることに留意する必要がある。

アンケートの全体の回答率は平均40.7%であり、昨年度の42.7%、一昨年度の48.0%よりも減少している。少人数の高数値/低数値評価と回答率の低さは満足度評価の数値に対する信頼度を大きく低下させるものであろう。今後、学生アンケートの経年変化を考える上で、重要な要因であるため注意が必要であり、アンケート回収率向上に向けた取り組みを検討することが望まれる。

個々の質問項目（全学共通）に対する回答については、概ね平均値がすべて4.0を上回っており、各担当教員の講義法が広く学生から支持されていることを窺わせるデータとなっている。個々の設問の中で、もっとも高評価の数値を示した項目は「この授業の開始前にシラバスを読んだ: 4.65」（前年度4.64）である。また、「板書、プロジェクター、プリント等の説明補助手段（遠隔授業ツールも含む）は授業内容の理解に役立った: 4.49」（前年度4.48）「授業中は集中できる環境が維持されていた: 4.48」（前年度4.50）も高い数値を示しており、教養教育院として取り組んできたシラバス改善とチェック、および新入生オリエンテーション時にシラバス熟読の指導が功を奏してきた結果であると受け止めたい。また、教員による教材および授業環境の整備が適切に行われていたことがうかがえる。

④ 理系基盤教育系

令和7年度の理系基盤教育系科目は前後期を合わせて22科目が開講された。1科目あたりの履修者数は平均94名（最小6名、最大198名）で、100名以上の大規模クラスが15クラス、一

方で 20 名以下の小規模クラスが 4 クラスであった。総合満足度は平均値 4.42（最大値 5.00、最小値 2.87）であった。授業満足度の平均値は令和 3 年度の 4.00→令和 4 年度の 4.29→令和 5 年度の 4.40→令和 6 年度の 4.27 と推移しており 4.00 以上を維持している。回答者が 30%以下の科目が半数程度あり、それらを含めたスコアであることに留意する必要がある。

アンケートの全体の回答率は平均 34.7%であり、昨年度の 50.8%、一昨年度の 54.7%よりも大幅に減少している。少人数の高数値/低数値評価と回答率の低さは満足度評価の数値に対する信頼度を大きく低下させるものであろう。今後、学生アンケートの経年変化を考える上で、重要な要因であるため注意が必要であり、アンケート回収率向上に向けた取り組みを検討することが望まれる。

個々の質問項目（全学共通）に対する回答については、概ね平均値がすべて 4.0 を上回っており、各担当教員の講義法が広く学生から支持されていることを窺わせるデータとなっている。個々の設問の中で、もっとも高評価の数値を示した項目は「板書、プロジェクター、プリント等の説明補助手段（遠隔授業ツールも含む）は授業内容の理解に役立った：4.56」（前年度 4.68）「授業中は集中できる環境が維持されていた：4.47」（前年度 4.67）も高い数値を示しており、教員による教材および授業環境の整備が適切に行われていたことがうかがえる。

⑤ 医療・健康科学系

令和 7 年度の医療・健康科学系科目は、前後期を合わせて 10 科目が開講された。1 科目あたりの履修者数は平均 172.6 名（最小 70 名、最大 287 名）であり、100 名以上の大規模クラスが 7 科目を占めるなど、多人数を対象とした授業が中心となっている。20 名以下の小規模クラスは開講されていないことから、本系の教育が、比較的大人数を対象とした講義形式を主体としていることが分かる。授業全体の総合満足度は平均 4.53（最大 4.73、最小 4.30）であった。全 10 科目中 7 科目（70%）が 4.5 以上の評価を得ていることから、全体として高い学生評価が得られていると言えるだろう。

授業ごとの回答率は 26.3%から 57.3%まで幅があり、平均回答率は 42.8%であった。回答率が 50%を下回る授業は 6 科目（60%）を占めており、回答率そのものは必ずしも高いとは言えない。しかし、回答率が 50%を超える授業でも総合満足度が 4.4～4.7 の高い水準を維持しているため、学生評価は比較的安定していると考えられる。

総合満足度の分布をみると、全 10 科目が 4.3 以上の評価を得ており、4.0 未満の授業はみられなかった。最高値 4.73 と最低値 4.30 との差は 0.43 ポイントにとどまっており、授業間の評価のばらつきは比較的小さい。このデータからは、医療・健康科学系科目では授業の質が全体として一定水準以上に維持されていることが示唆される。

個々の質問項目（全学共通設問）についても、各授業とも概ね 4 点以上の評価を得ており、授業内容や授業運営に対する学生の満足度は高い。特に、授業資料やスライド等の説明補助手段に関する設問、授業内容とシラバスとの整合性、授業内容の理解度に関する設問では、多くの授業で高い評価が得られており、教員が授業設計や教材作成を工夫しながら教育を実践していることがうかがい知ることができる。また、シラバスに関する設問についても概ね良好な評価となっており、授業計画に基づいた教育が適切に実施されているものと判断される。

以上の結果より、令和 7 年度の医療・健康科学系科目は、多人数授業を中心とした教育体制の

中でありながらも、総合満足度および各設問とも高い評価を維持しており、教育内容・授業運営の両面において安定した教育が実践されていることが確認された。

⑥ 総合科目系

総合科目系では前後期および集中講義をあわせて47クラスが開講され、履修者数は平均102.9名であった。総合満足度は履修者数20名未満のものを除いて最大値4.93、最小値3.40であり、すべての科目の平均は4.45であった。回答者数が極端に少ない科目も幾つかあり、それらを含めたスコアであることに留意する必要がある。授業満足度の平均は、令和元年度から3.86→3.98→4.07→4.25→4.43→4.40→4.45と推移しており、近年は高い数値で安定している。一方で、個別の授業における数値の推移やその要因を詳しく検討していくことが個々の授業改善やより良い取り組みの共有につながるので、細かい検証も必要だろう。

アンケートの回答率は履修者数20名未満のものを除いて最高で66.7%、最低で13.3%であった。履修者数が100名を超える授業でも回答率に18.8%～60.7%とばらつきがある。

⑦ 外国語系

外国語系科目は前後期合わせて296コマ（英語178コマ、初修外国語113コマ、日本語5コマ）が開講され、1クラスの履修者数の平均は37.8名（英語43.0名、初修外国語30.7名、日本語12.6名）であった。総合満足度は最大値5.00、最小値2.83であり、科目平均は4.42（英語平均4.38、初修外国語平均4.48、日本語平均4.6）であった。アンケートの回答率の平均は49.5%（英語48.6%、初修外国語51.4%、日本語58.7%）となり、令和6年度（52.7%）よりも低下した。Q3～Q15の質問項目（全学共通）に対する回答については、平均値がすべて4.0を上回っており、これまでと変わらず、広く学生から支持されていると思われる。また、昨年度と同様、Q7.「教員の言葉は聞き取りやすかった」、Q8.「板書、プロジェクター、プリント等の説明補助手段（遠隔授業ツールも含む）は授業内容の理解に役立った」、Q9.「授業中は集中できる環境が維持されていた」は平均値4.5以上であったことに加え、Q5.「この授業の内容はシラバスに書かれているとおりだった」の平均値も4.5以上となったことから、教員が、よりシラバスに沿った授業運営を心掛けている様子が伺えた。

授業担当教員の「学生による授業評価アンケート結果を踏まえた自己分析」では、各教員が授業運営に工夫を凝らしているだけでなく、学生からの声に耳を傾け、改善に真摯に取り組もうとしている様子が伺えた。

一方、授業評価アンケートの回収率が年々低下していることは課題である。回収率の低下は、アンケート結果の信頼性にも影響を及ぼす可能性がある。学生の意見を的確に把握し、授業内容や教育方法の改善につなげるためにも、アンケートの意義を改めて周知するとともに、例えば、各系においても実施を積極的に推奨するなど、学生の回答を後押ししていく必要があると考えられる。

⑧ 保健体育系

令和7年度の保健体育系科目は、前後期を合わせて49科目が開講された。1科目あたりの履修者数は、平均約56.3名（最小11名、最大151名）であった。100名以上の大規模クラスは5

クラス（151名、145名、142名、130名、115名）であり、20名以下の小規模クラスは1クラス（履修者11名）であった。授業全体の総合満足度は平均4.65（最大5.00、最小3.58）となっている。全49科目中38科目（約78%）で4.5以上の評価を得ていることから、学生から概ね良好な評価を受けていると言えるだろう。

授業毎の回答率は30.8%から83.3%まで大きな幅があり、平均回答率は約51.5%であった。例えば、回答率が50%を下回っている授業は49科目中の24科目（約49%）となっている。履修者数に比べて回答者数が少ない科目では、少数の回答によって満足度が変動しやすい点に注意が必要である。とはいうものの、回答率が80%前後と高い授業でも4.8～4.9程度の高い満足度を維持している授業が複数確認されることから、高評価が一部の授業のみならず、比較的安定した教育実践の成果であることをうかがい知ることができる。

総合満足度の分布をみると、4.0未満となった授業は49科目中4科目（約8%）にとどまり、多くの授業が4点台の高い評価を得ている。最低値は3.58であったものの、評価は4点台に集中しており、保健体育系の授業は概ね高い教育効果を維持しているものと考えられる。ただし、授業評価を分析する際には平均値のみで判断するのではなく、回答率や履修者数も併せて考慮し、経年的な変化を継続して検証していくことが重要である。

個々の質問項目（全学共通設問）に対する回答をみると、各設問の平均値は15問中13問（約87%）が4点以上となっており、学生からは高い支持を受けていることが確認できる。特に、「板書、プロジェクター、プリント等の説明補助手段（遠隔授業ツールを含む）」に関する設問や、「授業内容はシラバスに沿って実施された」、「授業内容を理解することができた」といった授業運営に関する設問では、多くの授業で4点台後半から5点の高い評価が得られており、授業設計や教材提示、授業運営が適切に行われていると考えられる。また、「この授業の開始前にシラバスを読んだ」に関する設問についても概ね良好な評価が得られており、教養教育院が継続して取り組んできたシラバス改善や履修指導が一定の成果を上げているものと判断される。

以上の結果より、令和7年度の保健体育系教育科目は、総合満足度、各設問評価ともに高い水準を維持しており、教育内容・授業運営ともに良好な状態にあると評価できる。

⑨ 情報処理系

令和7年度は前後期で全学必修科目である「情報処理」が41コマ（うち再履修2コマ）、後期に選択科目である「応用情報処理」が5コマ開講された。前期の「情報処理」新入生クラスは入学時に指定されており、五福キャンパス文系クラス（人文学部・経済学部・教育学部混成）、五福キャンパス理系クラス（理学部・工学部・都市デザイン学部混成）、杉谷キャンパスクラス（医学部医学科、医学部看護学科、薬学部別）、高岡キャンパスクラス（芸術文化学部）として約40～50名程度が学内端末室で実施する授業である。情報処理系科目全体の授業評価アンケート回答率は平均59.3%となっている。

授業満足度は「情報処理」で平均4.30、「応用情報処理」で平均4.34、再履修のみの「情報処理」で平均4.06であった。

前年度の「情報処理」および「応用情報処理」の授業満足度はそれぞれ平均4.29および4.60であり、満足度を向上しながら継続して高い水準を維持している。アンケート回答率は標準的な人数のクラスでも22.4～96.0%まで大きなばらつきがあり、特に「情報処理」は同一内

容で実施しているので担当教員による違いが反映されていると考えられる。正確な授業満足度を評価するためには回答率向上が必要不可欠であり、回答率を向上させるためには授業中における担当教員から学生への周知および依頼の仕方が大きく影響していると考えられるため、担当教員へのより徹底した授業内での周知協力依頼を行う必要がある。

令和7年度 学生による授業評価 アンケート集計表

教養教育科目【講義科目】

2025年 前期 授業評価アンケート 教養教育 講義 集計表

授業数

	アンケート 対象授業数	回答授業数
実数	300	295
比率	—	98

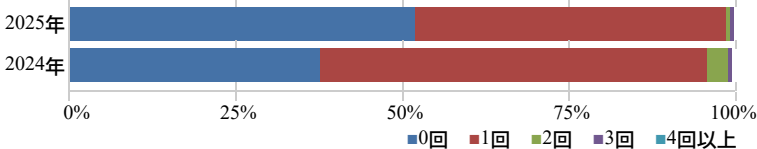
回答率

～10%	～20%	～30%	～40%	～50%	～60%	～70%	～80%	～90%	90%～	平均 回答率
1	3	19	53	81	48	35	17	25	13	52%
0%	1%	6%	18%	27%	16%	12%	6%	8%	4%	—

以下の集計表は、それぞれの授業で集計した結果を元に、部局全体の傾向を示すために授業を単位として集計したものである。
それぞれの授業で各質問の回答の平均値を算出し、その平均値の分布を幅¹の階級で示している。
例えば、平均値 0.5 ～ 1.5 の欄に 10 という数値が表示されていれば、それはその質問への回答の平均値が 0.5 以上 1.5 未満であった授業が 10 あったことを示している。
また、それぞれの授業の平均値をすべて足し合わせ授業数で割った、「平均値の平均」も算出している。
学年別の集計は、当該学年の学生が 5 人以上回答した授業について、当該学年の回答や平均値を算出し、それを元に全体での集計と同様の処理を行ったものである。学部別、学科別の集計も同様である。

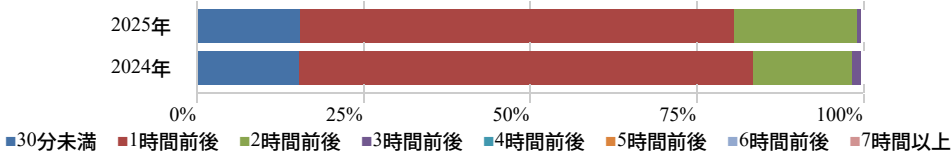
Q1.この授業を何回欠席しましたか

選択肢	0回	1回	2回	3回	4回以上	平均値 の平均
平均値	～0.5	～1.5	～2.5	～3.5	3.5～	
全体	153	138	2	2	0	0.52
	52%	47%	1%	1%	0%	



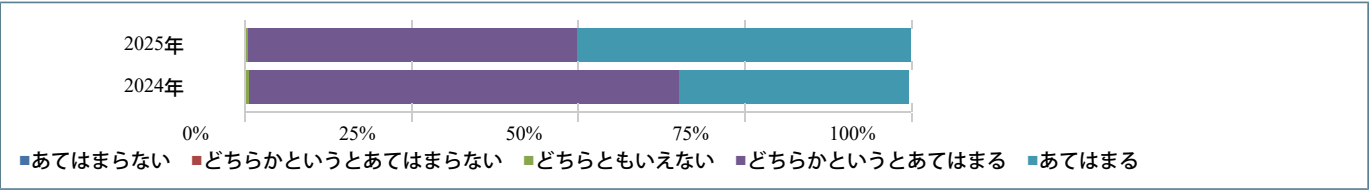
Q2.この授業の授業外学習（予習・復習・課題等）時間は、1週間で平均何時間でしたか

選択肢	30分未満	1時間前後	2時間前後	3時間前後	4時間前後	5時間前後	6時間前後	7時間以上	平均値 の平均
平均値	～0.5	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	～5.5	～6.5	6.5～	
全体	45	193	55	2	0	0	0	0	1.05
	15%	65%	19%	1%	0%	0%	0%	0%	



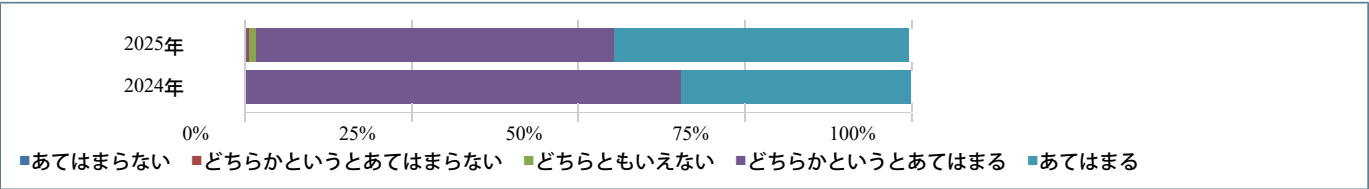
Q3.この授業に積極的に取り組んだ

選択肢	あてはまらない	どちらかというにあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというにあてはまる	あてはまる	平均値の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	1	146	148	4.45
	0%	0%	0%	49%	50%	



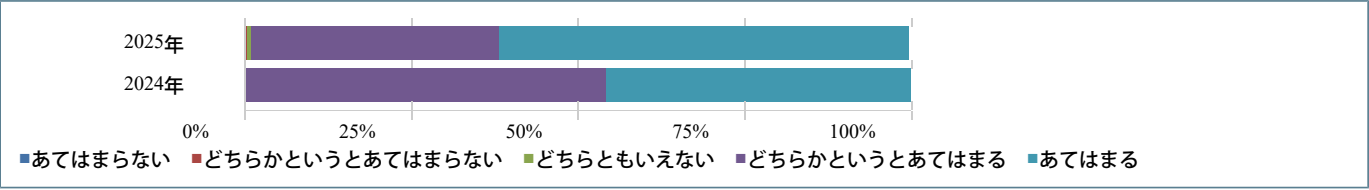
Q4.この授業の開始前にシラバスを読んだ

選択肢	あてはまらない	どちらかというにあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというにあてはまる	あてはまる	平均値の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	1	1	3	159	131	4.38
	0%	0%	1%	54%	44%	



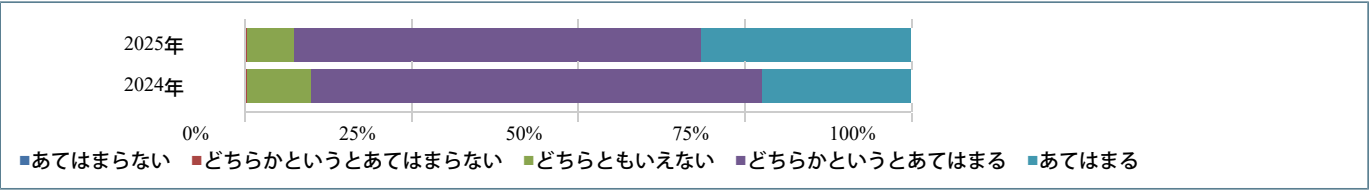
Q5.この授業の内容はシラバスに書かれているとおりだった

選択肢	あてはまらない	どちらかというにあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというにあてはまる	あてはまる	平均値の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	1	2	110	182	4.50
	0%	0%	1%	37%	62%	



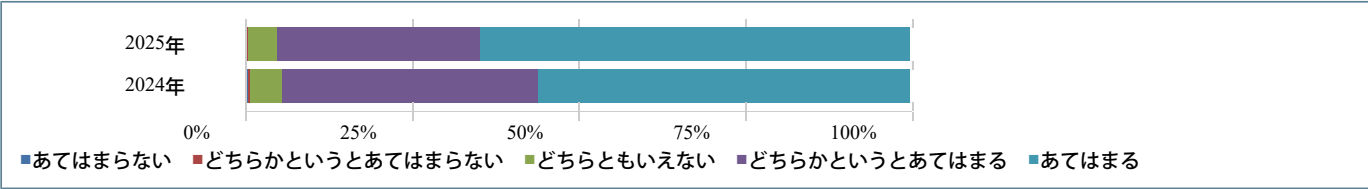
Q6.この授業の難易度は私に合っていた

選択肢	あてはまらない	どちらかというにあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというにあてはまる	あてはまる	平均値の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	1	21	180	93	4.21
	0%	0%	7%	61%	32%	



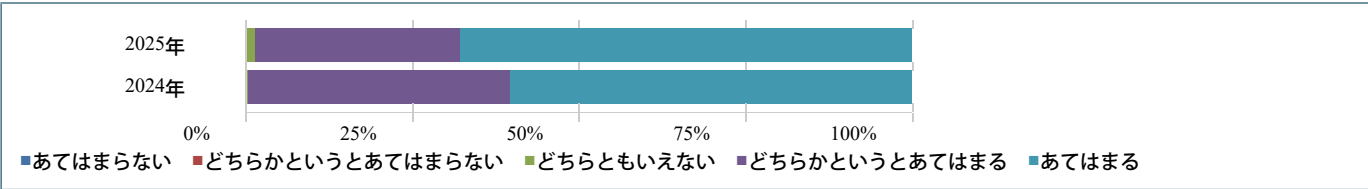
Q7.教員の言葉は聞き取りやすかった

選択肢	あてはまらない	どちらかというにあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというにあてはまる	あてはまる	平均値の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	1	13	90	191	4.48
	0%	0%	4%	31%	65%	



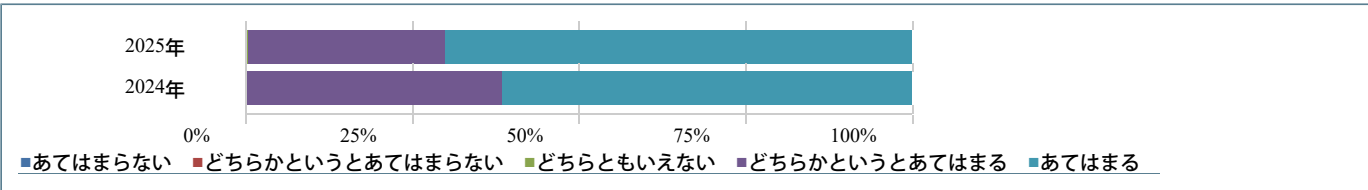
Q8.板書、プロジェクタ、プリント等の説明補助手段（遠隔授業ツールも含む）は授業内容の理解に役立った

選択肢	あてはまらない	どちらかというにあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというにあてはまる	あてはまる	平均値の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	4	91	200	4.53
	0%	0%	1%	31%	68%	



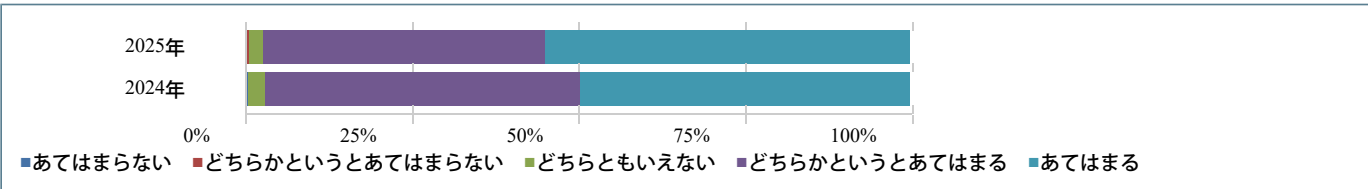
Q9.授業中は集中できる環境が維持されていた

選択肢	あてはまらない	どちらかというにあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというにあてはまる	あてはまる	平均値の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	1	87	207	4.58
	0%	0%	0%	29%	70%	



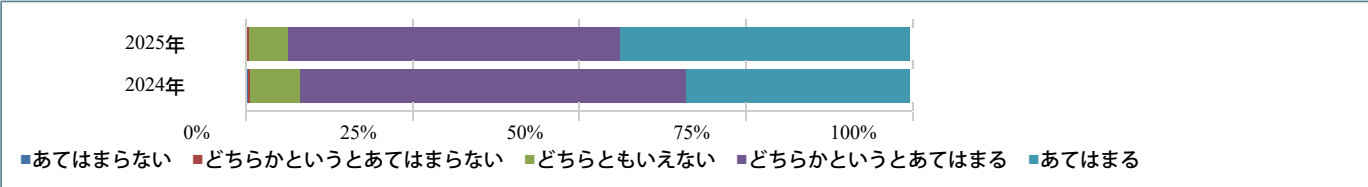
Q10.教員の説明は要領を得てわかりやすかった

選択肢	あてはまらない	どちらかというにあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというにあてはまる	あてはまる	平均値の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	1	7	125	162	4.44
	0%	0%	2%	42%	55%	



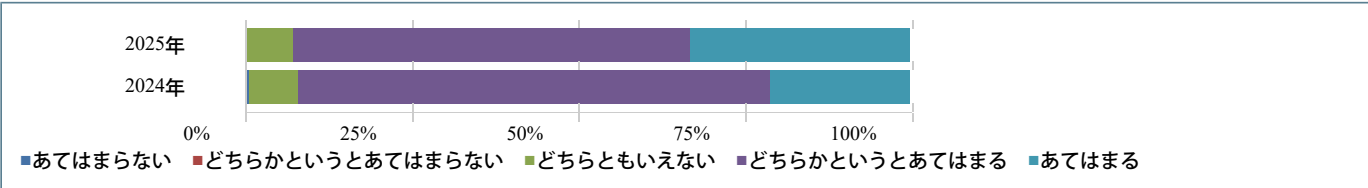
Q11.この授業の進む速さは私に合っていた

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	1	18	147	129	4.32
	0%	0%	6%	50%	44%	



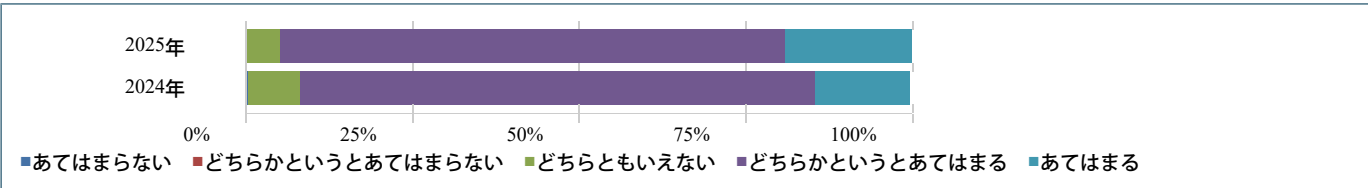
Q12.学生に質問をする機会が与えられた（オフィスアワーや質問の提出、遠隔授業のチャット機能等も含む）

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	21	176	98	4.24
	0%	0%	7%	60%	33%	



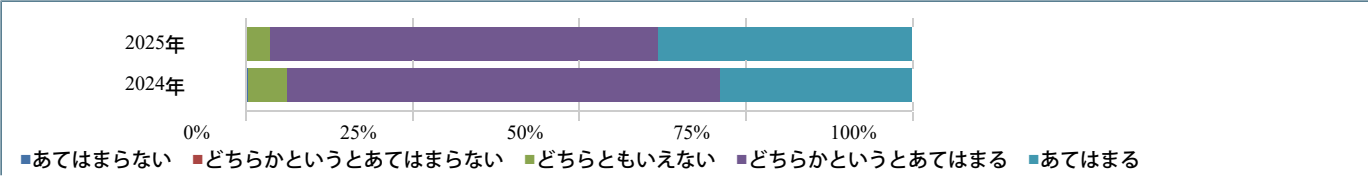
Q13.この授業の分野に対する興味関心が増した

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	15	224	56	4.14
	0%	0%	5%	76%	19%	



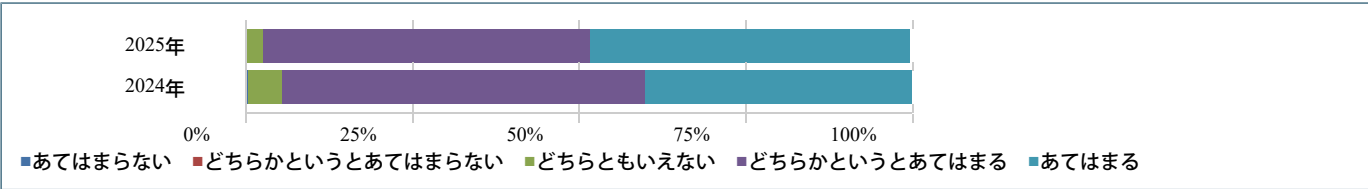
Q14.この授業を全体として理解できた

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	11	172	112	4.31
	0%	0%	4%	58%	38%	



Q15.総合的に判断して、この授業に満足した

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	8	145	142	4.37
	0%	0%	3%	49%	48%	



2025年 後期 授業評価アンケート 教養教育 講義 集計表

授業数

	アンケート 対象授業数	回答授業数
実数	258	249
比率	—	97

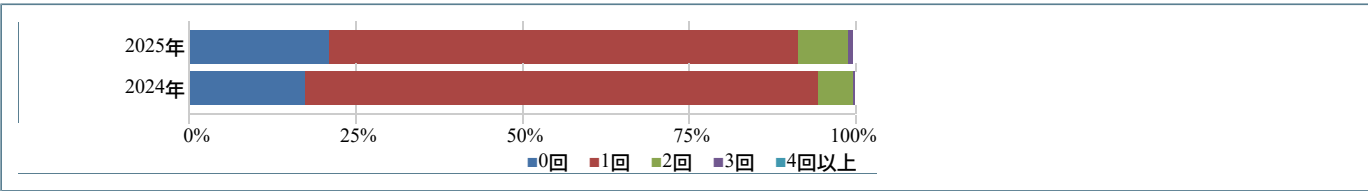
回答率

～10%	～20%	～30%	～40%	～50%	～60%	～70%	～80%	～90%	90%～	平均 回答率
4	36	66	47	25	25	23	10	10	3	39%
2%	14%	27%	19%	10%	10%	9%	4%	4%	1%	—

以下の集計表は、それぞれの授業で集計した結果を元に、部局全体の傾向を示すために授業を単位として集計したものである。
それぞれの授業で各質問の回答の平均値を算出し、その平均値の分布を幅¹の階級で示している。
例えば、平均値 0.5 ～ 1.5 の欄に 10 という数値が表示されていれば、それはその質問への回答の平均値が 0.5 以上 1.5 未満であった授業が 10 あったことを示している。
また、それぞれの授業の平均値をすべて足し合わせ授業数で割った、「平均値の平均」も算出している。
学年別の集計は、当該学年の学生が⁵人以上回答した授業について、当該学年の回答や平均値を算出し、それを元に全体での集計と同様の処理を行ったものである。学部別、学科別の集計も同様である。

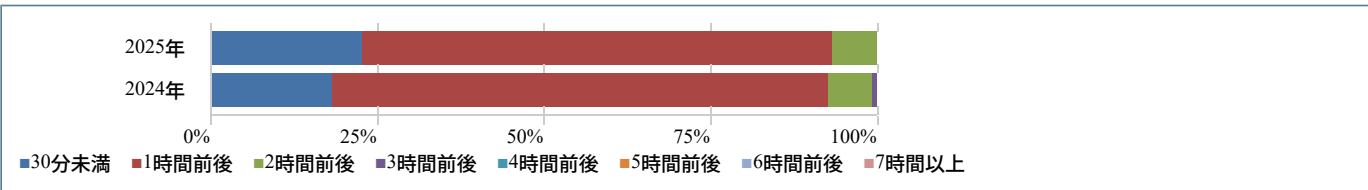
Q1.この授業を何回欠席しましたか

選択肢	0回	1回	2回	3回	4回以上	平均値 の平均
平均値	～0.5	～1.5	～2.5	～3.5	3.5～	
全体	52	176	19	2	0	0.83
	21%	71%	8%	1%	0%	



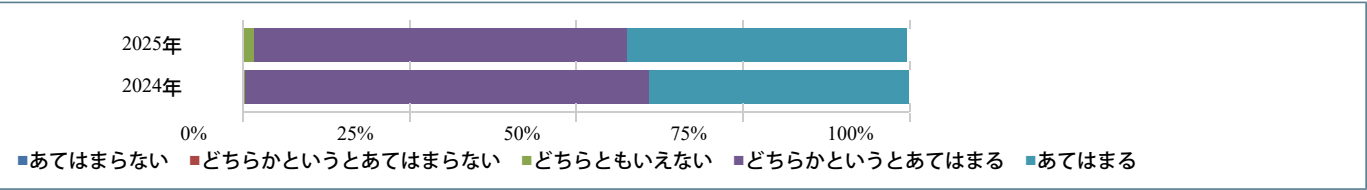
Q2.この授業の授業外学習（予習・復習・課題等）時間は、1週間で平均何時間でしたか

選択肢	30分未満	1時間前後	2時間前後	3時間前後	4時間前後	5時間前後	6時間前後	7時間以上	平均値 の平均
平均値	～0.5	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	～5.5	～6.5	6.5～	
全体	56	176	17	0	0	0	0	0	0.81
	22%	71%	7%	0%	0%	0%	0%	0%	



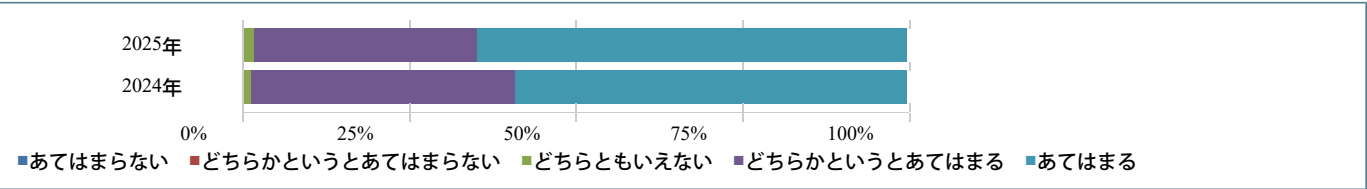
Q3.この授業に積極的に取り組んだ

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	4	140	105	4.38
	0%	0%	2%	56%	42%	



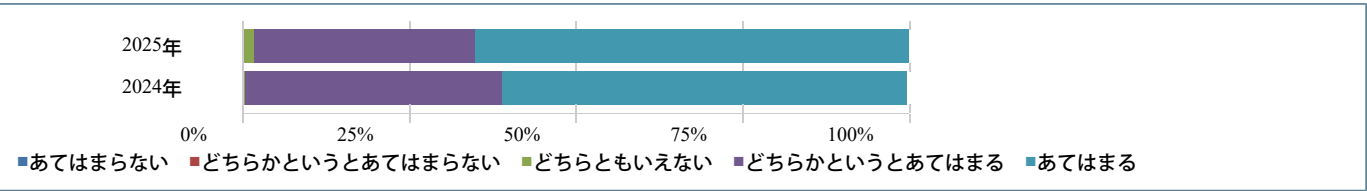
Q4.この授業の開始前にシラバスを読んだ

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	4	84	161	4.53
	0%	0%	2%	34%	65%	



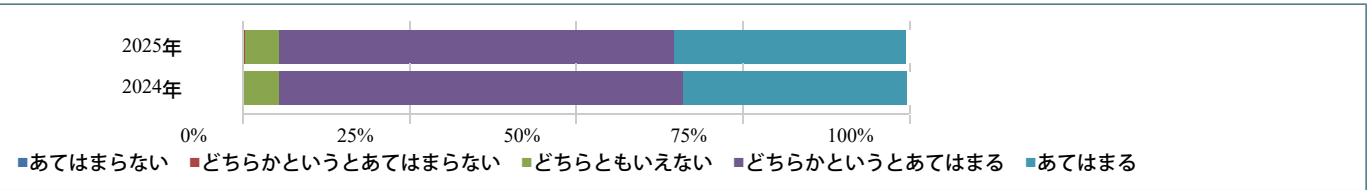
Q5.この授業の内容はシラバスに書かれているとおりだった

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	4	83	162	4.52
	0%	0%	2%	33%	65%	



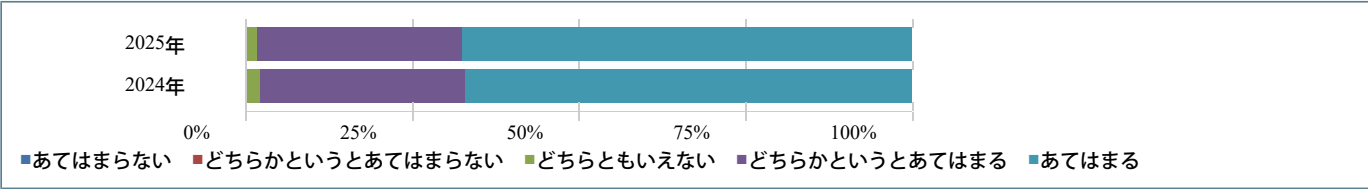
Q6.この授業の難易度は私に合っていた

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	1	13	148	87	4.29
	0%	0%	5%	59%	35%	



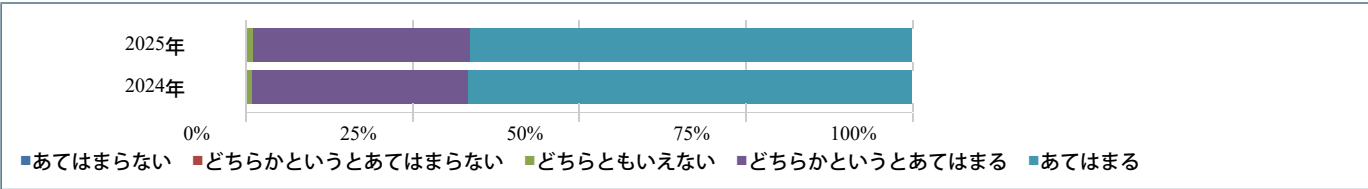
Q7.教員の言葉は聞き取りやすかった

選択肢	あてはまらない	どちらかというにあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというにあてはまる	あてはまる	平均値の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	4	77	168	4.56
	0%	0%	2%	31%	67%	



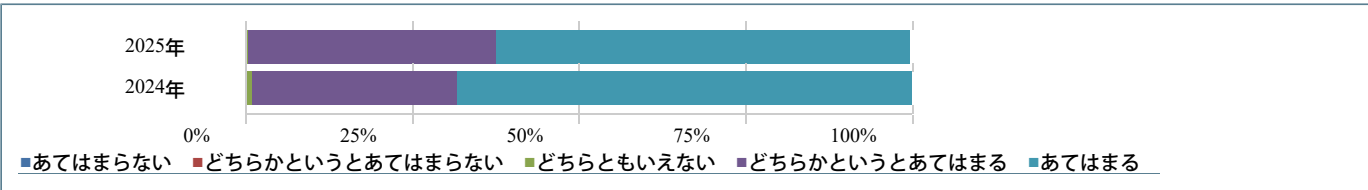
Q8.板書、プロジェクタ、プリント等の説明補助手段（遠隔授業ツールも含む）は授業内容の理解に役立った

選択肢	あてはまらない	どちらかというにあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというにあてはまる	あてはまる	平均値の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	3	81	165	4.54
	0%	0%	1%	33%	66%	



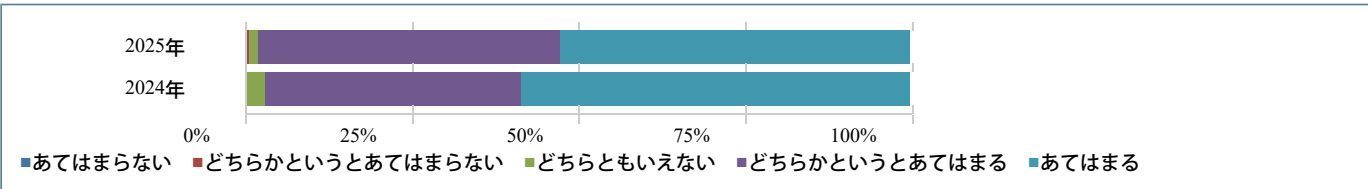
Q9.授業中は集中できる環境が維持されていた

選択肢	あてはまらない	どちらかというにあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというにあてはまる	あてはまる	平均値の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	1	93	155	4.55
	0%	0%	0%	37%	62%	



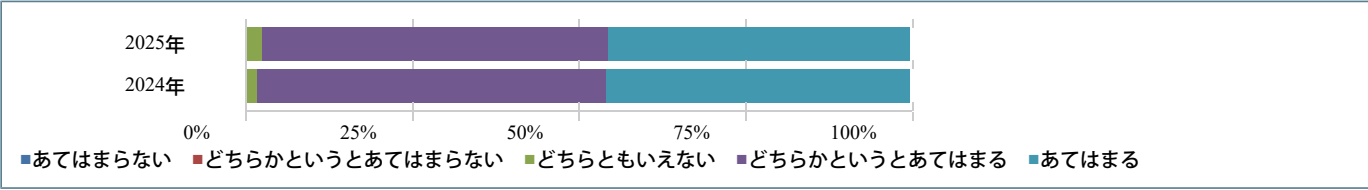
Q10.教員の説明は要領を得てわかりやすかった

選択肢	あてはまらない	どちらかというにあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというにあてはまる	あてはまる	平均値の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	1	4	113	131	4.46
	0%	0%	2%	45%	53%	



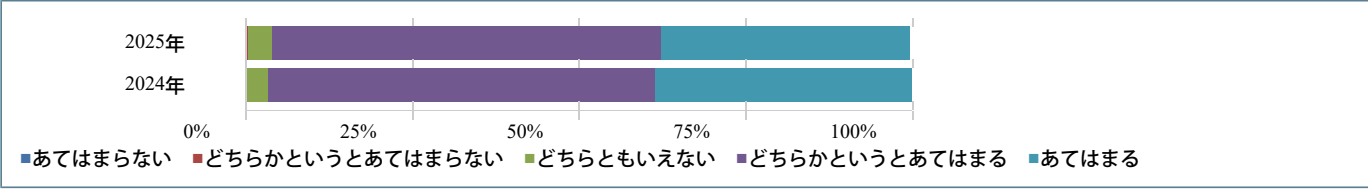
Q11.この授業の進む速さは私に合っていた

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	6	130	113	4.41
	0%	0%	2%	52%	45%	



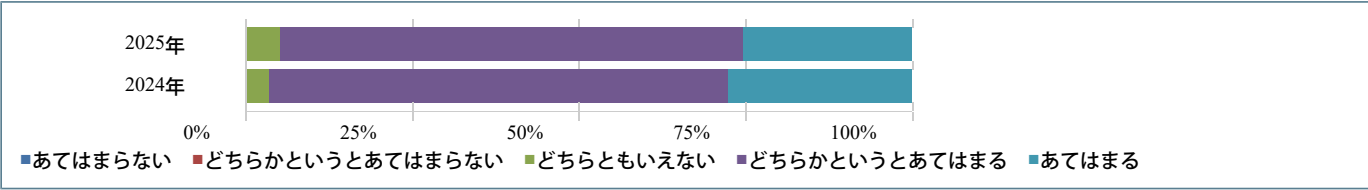
Q12.学生に質問をする機会が与えられた（オフィスアワーや質問の提出、遠隔授業のチャット機能等も含む）

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	1	9	146	93	4.29
	0%	0%	4%	59%	37%	



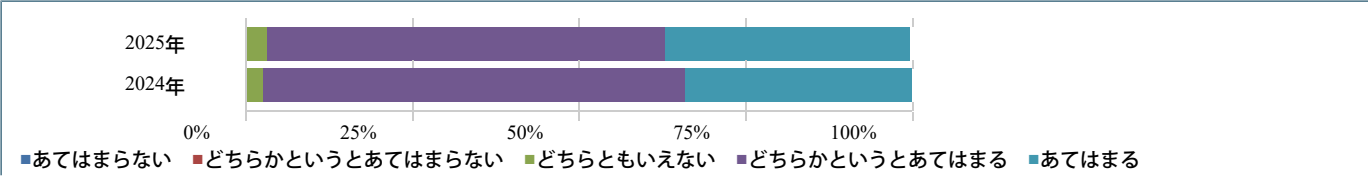
Q13.この授業の分野に対する興味関心が増した

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	13	173	63	4.20
	0%	0%	5%	69%	25%	



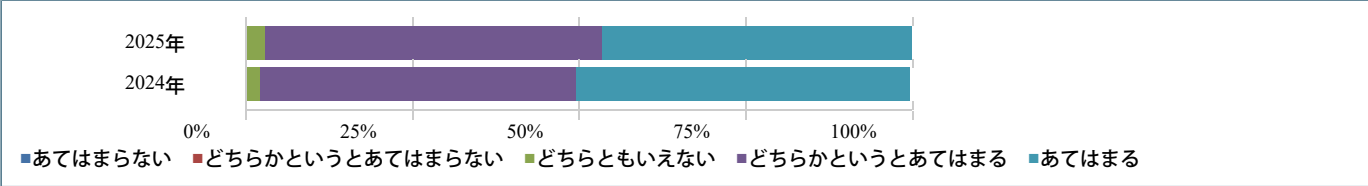
Q14.この授業を全体として理解できた

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	8	149	92	4.33
	0%	0%	3%	60%	37%	



Q15.総合的に判断して、この授業に満足した

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	7	126	116	4.41
	0%	0%	3%	51%	47%	



令和7年度 学生による授業評価 アンケート集計表

教養教育科目【健康・スポーツ/実技】

2025年 前期 授業評価アンケート 教養教育 スポーツ・実技 集計表

授業数

	アンケート 対象授業数	回答授業数
実数	39	39
比率	—	100

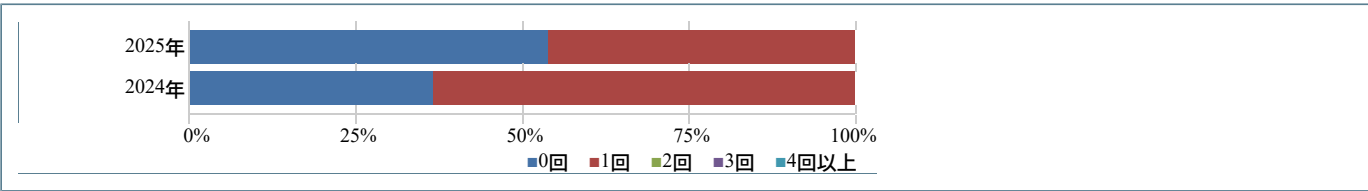
回答率

～10%	～20%	～30%	～40%	～50%	～60%	～70%	～80%	～90%	90%～	平均 回答率
0	0	0	10	9	10	4	3	3	0	52%
0%	0%	0%	26%	23%	26%	10%	8%	8%	0%	—

以下の集計表は、それぞれの授業で集計した結果を元に、部局全体の傾向を示すために授業を単位として集計したものである。
それぞれの授業で各質問の回答の平均値を算出し、その平均値の分布を幅¹の階級で示している。
例えば、平均値 0.5 ～ 1.5 の欄に 10 という数値が表示されていれば、それはその質問への回答の平均値が 0.5 以上 1.5 未満であった授業が 10 あったことを示している。
また、それぞれの授業の平均値をすべて足し合わせ授業数で割った、「平均値の平均」も算出している。
学年別の集計は、当該学年の学生が 5 人以上回答した授業について、当該学年の回答や平均値を算出し、それを元に全体での集計と同様の処理を行ったものである。学部別、学科別の集計も同様である。

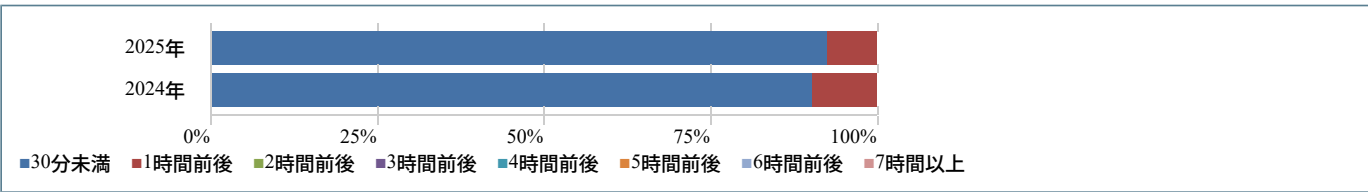
Q1.この授業を何回欠席しましたか

選択肢	0回	1回	2回	3回	4回以上	平均値 の平均
平均値	～0.5	～1.5	～2.5	～3.5	3.5～	
全体	21	18	0	0	0	0.54
	54%	46%	0%	0%	0%	



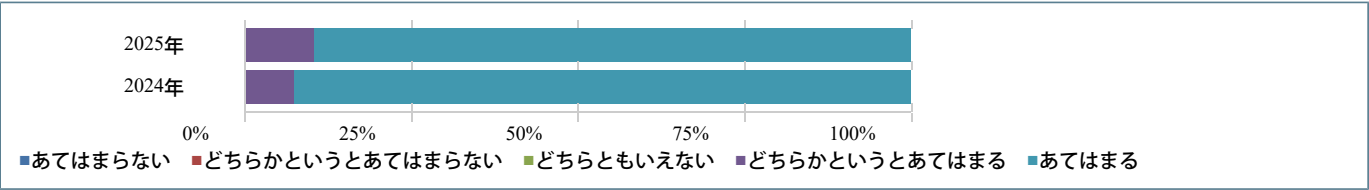
Q2.この授業の授業外学習（予習・復習・課題等）時間は、1週間で平均何時間でしたか

選択肢	30分未満	1時間前後	2時間前後	3時間前後	4時間前後	5時間前後	6時間前後	7時間以上	平均値 の平均
平均値	～0.5	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	～5.5	～6.5	6.5～	
全体	36	3	0	0	0	0	0	0	0.15
	92%	8%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	



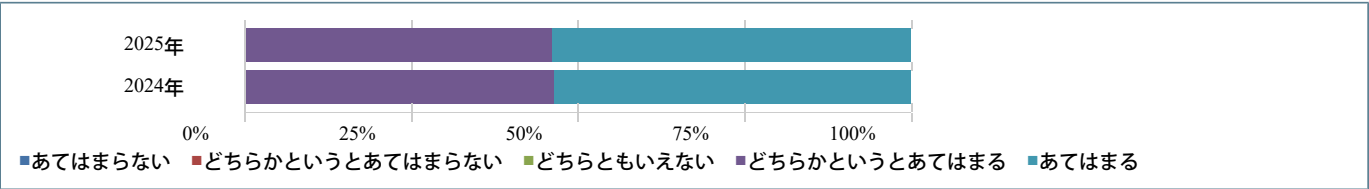
Q3.この授業に積極的に取り組んだ

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	4	35	4.75
	0%	0%	0%	10%	90%	



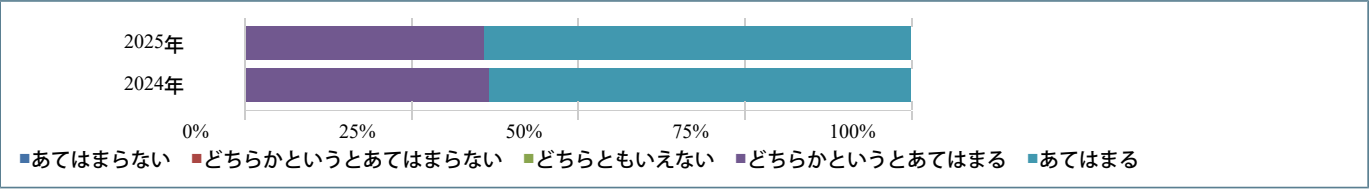
Q4.この授業の開始前にシラバスを読んだ

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	18	21	4.50
	0%	0%	0%	46%	54%	



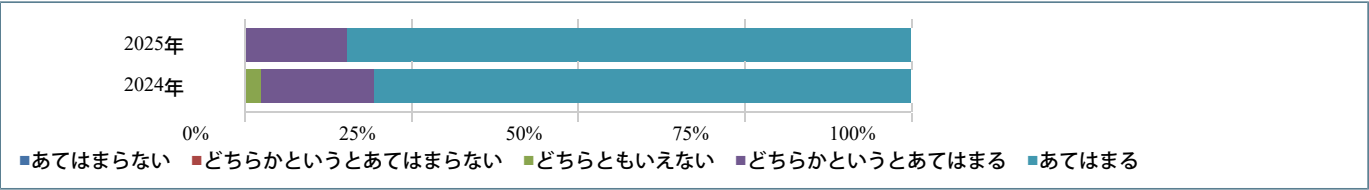
Q5.この授業の内容はシラバスに書かれているとおりだった

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	14	25	4.54
	0%	0%	0%	36%	64%	



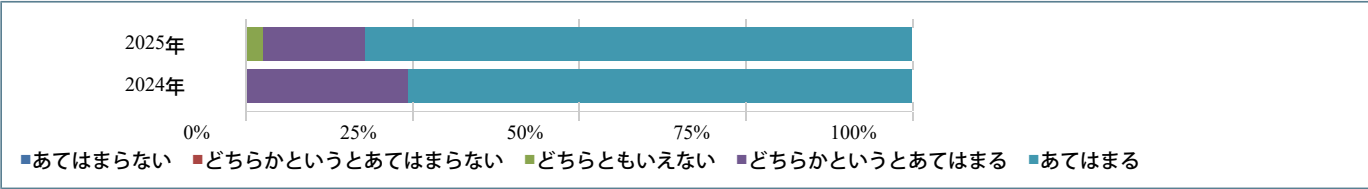
Q6.この授業の難易度は私に合っていた

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	6	33	4.70
	0%	0%	0%	15%	85%	



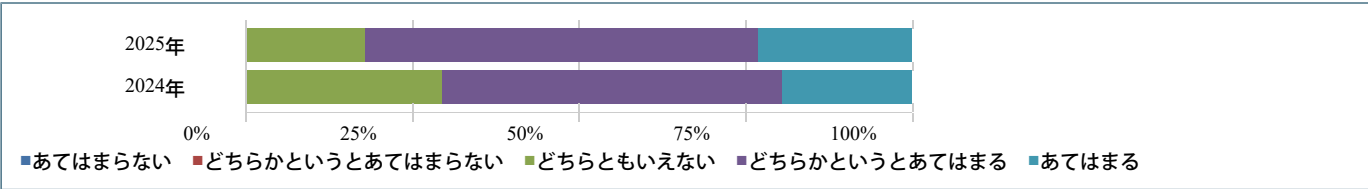
Q7.教員の言葉は聞き取りやすかった

選択肢	あてはまらない	どちらかというにあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというにあてはまる	あてはまる	平均値の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	1	6	32	4.69
	0%	0%	3%	15%	82%	



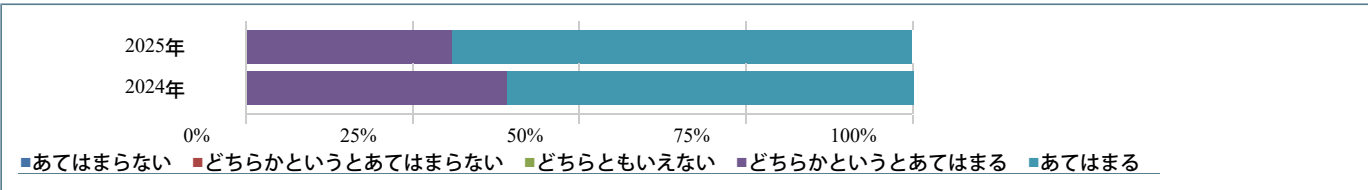
Q8.板書、プロジェクタ、プリント等の説明補助手段（遠隔授業ツールも含む）は授業内容の理解に役立った

選択肢	あてはまらない	どちらかというにあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというにあてはまる	あてはまる	平均値の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	7	23	9	4.04
	0%	0%	18%	59%	23%	



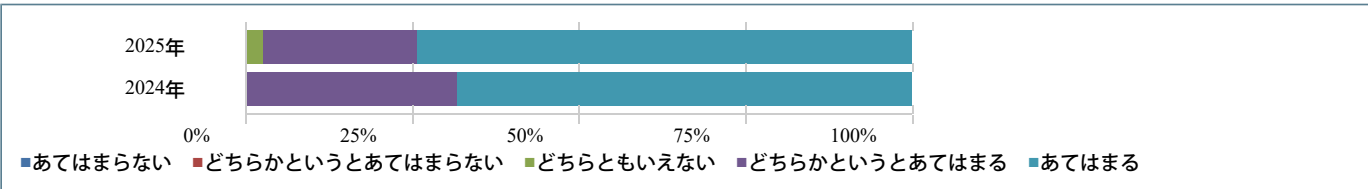
Q9.授業中は集中できる環境が維持されていた

選択肢	あてはまらない	どちらかというにあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというにあてはまる	あてはまる	平均値の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	12	27	4.58
	0%	0%	0%	31%	69%	



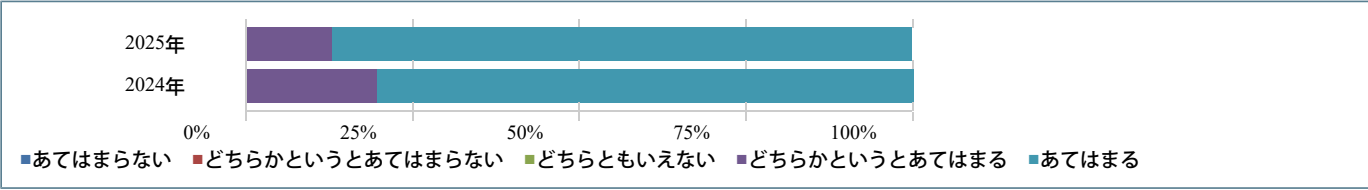
Q10.教員の説明は要領を得てわかりやすかった

選択肢	あてはまらない	どちらかというにあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというにあてはまる	あてはまる	平均値の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	1	9	29	4.62
	0%	0%	3%	23%	74%	



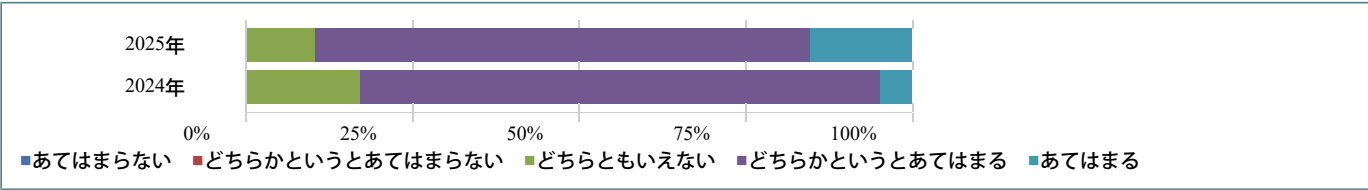
Q11.この授業の進む速さは私に合っていた

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	5	34	4.69
	0%	0%	0%	13%	87%	



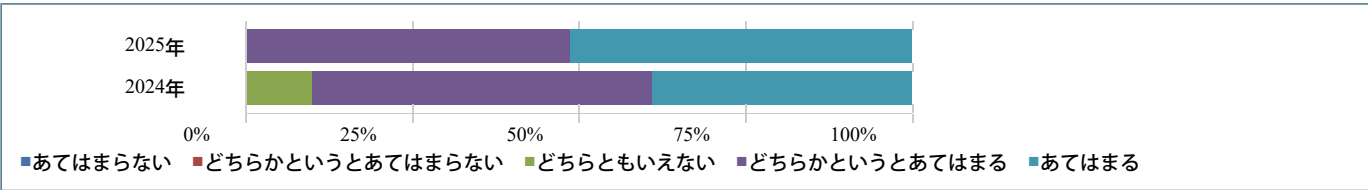
Q12.学生に質問をする機会が与えられた（オフィスアワーや質問の提出、遠隔授業のチャット機能等も含む）

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	4	29	6	4.11
	0%	0%	10%	74%	15%	



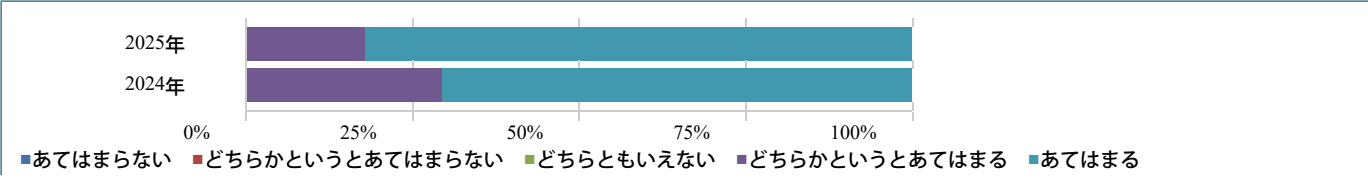
Q13.この授業の分野に対する興味関心が増した

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	19	20	4.41
	0%	0%	0%	49%	51%	



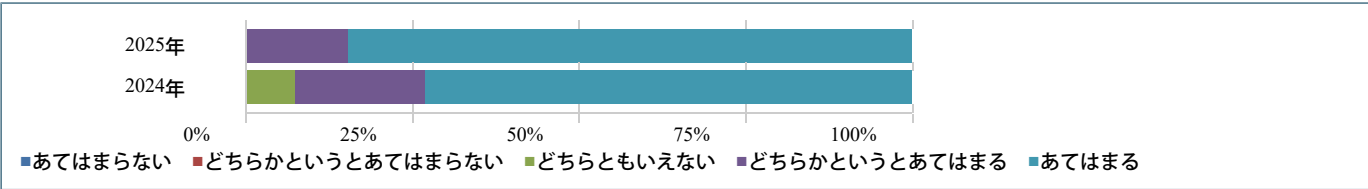
Q14.この授業を全体として理解できた

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	7	32	4.67
	0%	0%	0%	18%	82%	



Q15.総合的に判断して、この授業に満足した

選択肢	あてはまらない	どちらかというにあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというにあてはまる	あてはまる	平均値の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	6	33	4.70
	0%	0%	0%	15%	85%	



2025年 後期 授業評価アンケート 教養教育 スポーツ・実技 集計表

授業数

	アンケート 対象授業数	回答授業数
実数	1	1
比率	—	100

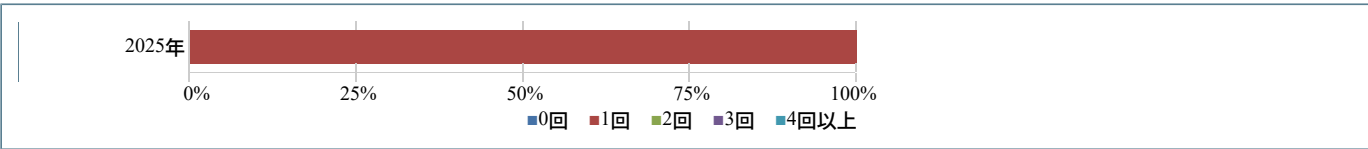
回答率

～10%	～20%	～30%	～40%	～50%	～60%	～70%	～80%	～90%	90%～	平均 回答率
0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	45%
0%	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	—

以下の集計表は、それぞれの授業で集計した結果を元に、部局全体の傾向を示すために授業を単位として集計したものである。
それぞれの授業で各質問の回答の平均値を算出し、その平均値の分布を幅¹の階級で示している。
例えば、平均値 0.5 ～ 1.5 の欄に 10 という数値が表示されていれば、それはその質問への回答の平均値が 0.5 以上 1.5 未満であった授業が 10 あったことを示している。
また、それぞれの授業の平均値をすべて足し合わせ授業数で割った、「平均値の平均」も算出している。
学年別の集計は、当該学年の学生が 5 人以上回答した授業について、当該学年の回答や平均値を算出し、それを元に全体での集計と同様の処理を行ったものである。学部別、学科別の集計も同様である。

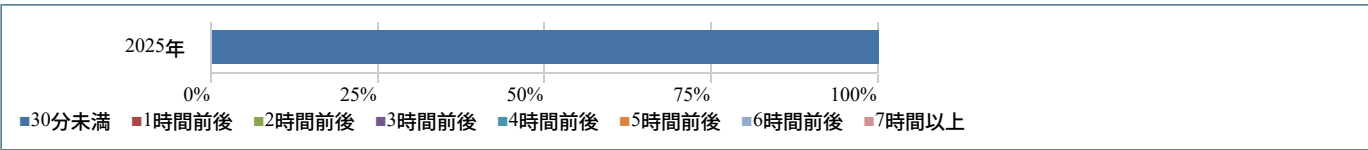
Q1.この授業を何回欠席しましたか

選択肢	0回	1回	2回	3回	4回以上	平均値 の平均
平均値	～0.5	～1.5	～2.5	～3.5	3.5～	
全体	0	1	0	0	0	1.40
	0%	100%	0%	0%	0%	



Q2.この授業の授業外学習（予習・復習・課題等）時間は、1週間で平均何時間でしたか

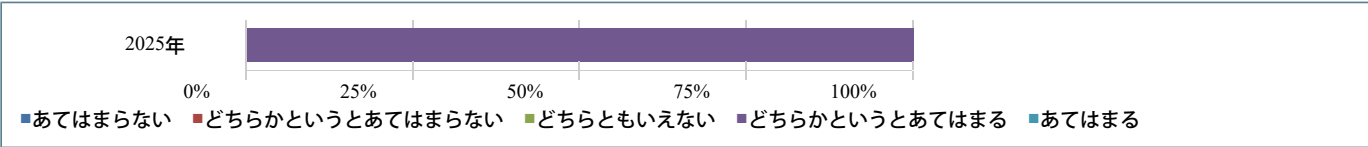
選択肢	30分未満	1時間前後	2時間前後	3時間前後	4時間前後	5時間前後	6時間前後	7時間以上	平均値 の平均
平均値	～0.5	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	～5.5	～6.5	6.5～	
全体	1	0	0	0	0	0	0	0	0.20
	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	



Q3.この授業に積極的に取り組んだ

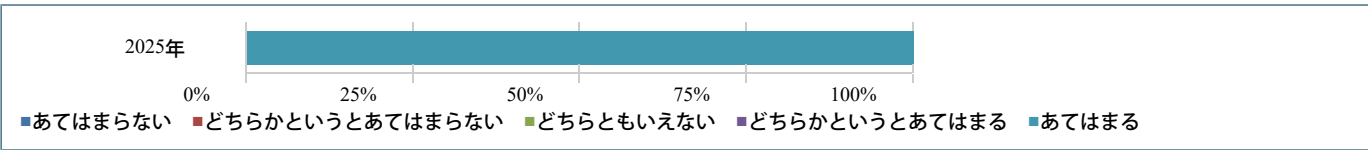
選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値
-----	---------	--------------------	-----------	------------------	-------	-----

平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	の平均
全体	0	0	0	1	0	4.40
	0%	0%	0%	100%	0%	



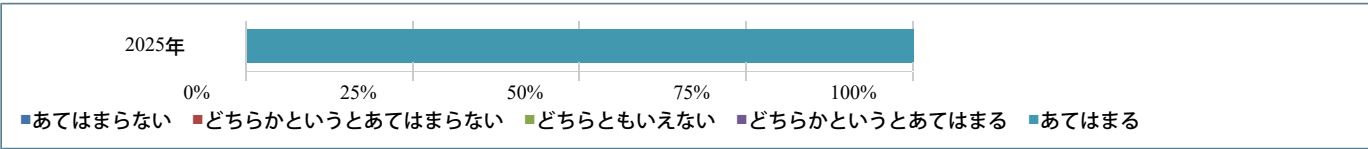
Q4.この授業の開始前にシラバスを読んだ

選択肢	あてはまらない	どちらかというにあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというにあてはまる	あてはまる	平均値の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	0	1	4.60
	0%	0%	0%	0%	100%	



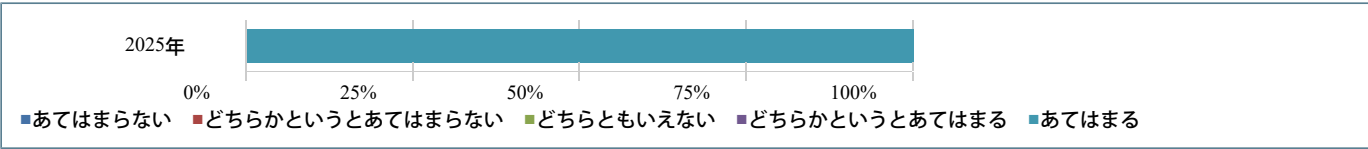
Q5.この授業の内容はシラバスに書かれているとおりだった

選択肢	あてはまらない	どちらかというにあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというにあてはまる	あてはまる	平均値の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	0	1	4.80
	0%	0%	0%	0%	100%	



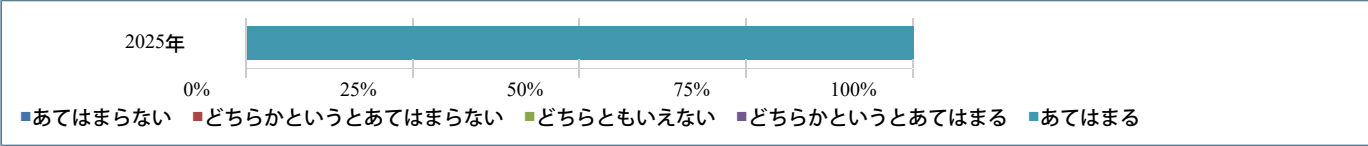
Q6.この授業の難易度は私に合っていた

選択肢	あてはまらない	どちらかというにあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというにあてはまる	あてはまる	平均値の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	0	1	4.60
	0%	0%	0%	0%	100%	



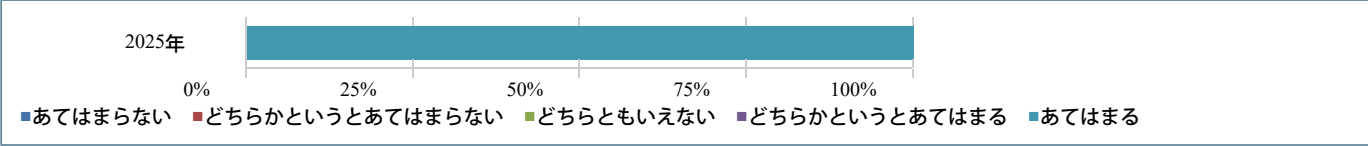
Q7.教員の言葉は聞き取りやすかった

選択肢	あてはまらない	どちらかというにあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというにあてはまる	あてはまる	平均値の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	0	1	5.00
	0%	0%	0%	0%	100%	



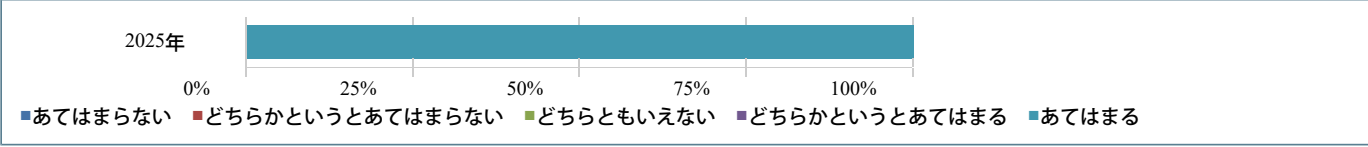
Q8.板書、プロジェクタ、プリント等の説明補助手段（遠隔授業ツールも含む）は授業内容の理解に役立った

選択肢	あてはまらない	どちらかというにあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというにあてはまる	あてはまる	平均値の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	0	1	4.60
	0%	0%	0%	0%	100%	



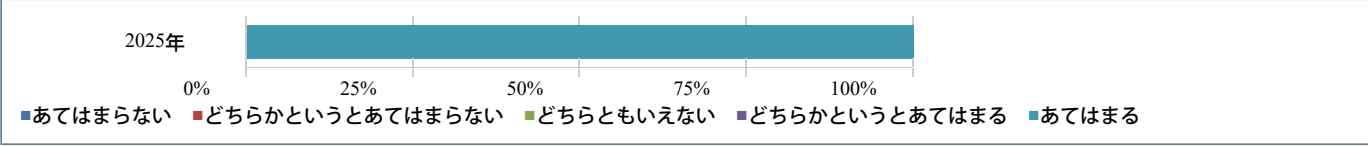
Q9.授業中は集中できる環境が維持されていた

選択肢	あてはまらない	どちらかというにあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというにあてはまる	あてはまる	平均値の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	0	1	5.00
	0%	0%	0%	0%	100%	



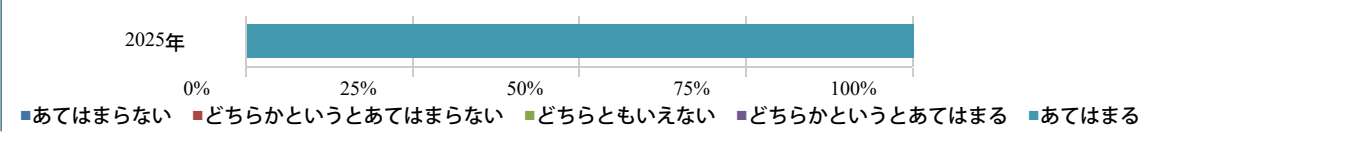
Q10.教員の説明は要領を得てわかりやすかった

選択肢	あてはまらない	どちらかというにあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというにあてはまる	あてはまる	平均値の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	0	1	5.00
	0%	0%	0%	0%	100%	



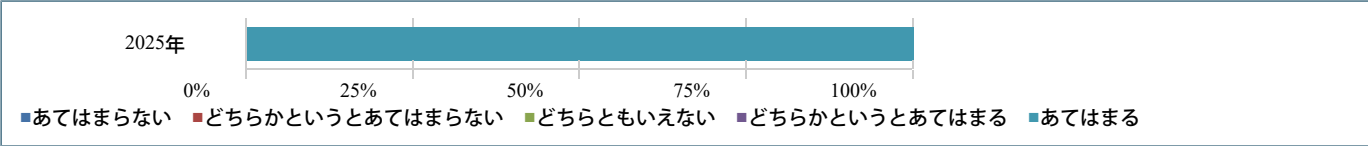
Q11.この授業の進む速さは私に合っていた

選択肢	あてはまらない	どちらかというにあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというにあてはまる	あてはまる	平均値の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	0	1	5.00
	0%	0%	0%	0%	100%	



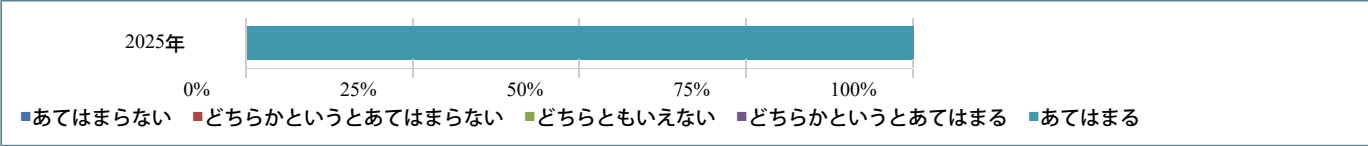
Q12.学生に質問をする機会が与えられた（オフィスアワーや質問の提出、遠隔授業のチャット機能等も含む）

選択肢	あてはまらない	どちらかというにあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというにあてはまる	あてはまる	平均値の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	0	1	4.80
	0%	0%	0%	0%	100%	



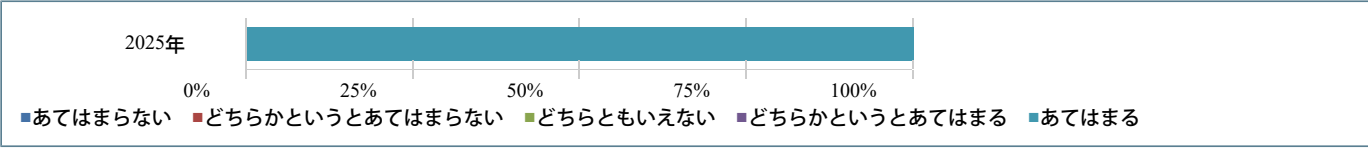
Q13.この授業の分野に対する興味関心が増した

選択肢	あてはまらない	どちらかというにあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというにあてはまる	あてはまる	平均値の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	0	1	4.60
	0%	0%	0%	0%	100%	



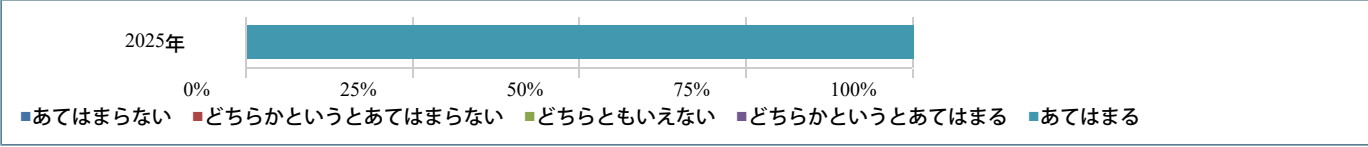
Q14.この授業を全体として理解できた

選択肢	あてはまらない	どちらかというにあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというにあてはまる	あてはまる	平均値の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	0	1	4.80
	0%	0%	0%	0%	100%	



Q15.総合的に判断して、この授業に満足した

選択肢	あてはまらない	どちらかというにあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというにあてはまる	あてはまる	平均値の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	0	1	4.80
	0%	0%	0%	0%	100%	



令和7年度 学生による授業評価 アンケート集計表

教養教育科目【健康・スポーツ/講義】

2025年 後期 授業評価アンケート 教養教育 スポーツ・講義 集計表

授業数

	アンケート 対象授業数	回答授業数
実数	9	9
比率	—	100

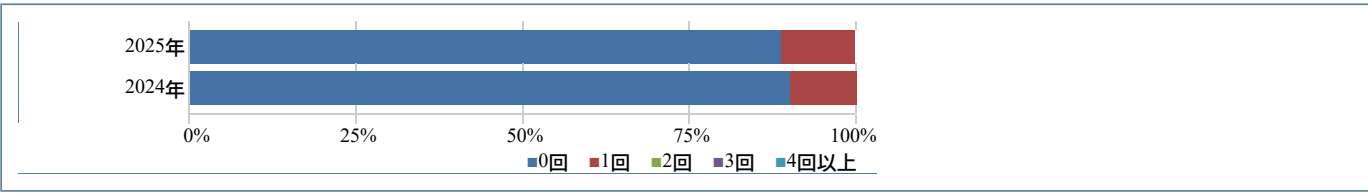
回答率

～10%	～20%	～30%	～40%	～50%	～60%	～70%	～80%	～90%	90%～	平均 回答率
0	0	0	1	3	3	2	0	0	0	51%
0%	0%	0%	11%	33%	33%	22%	0%	0%	0%	—

以下の集計表は、それぞれの授業で集計した結果を元に、部局全体の傾向を示すために授業を単位として集計したものである。
それぞれの授業で各質問の回答の平均値を算出し、その平均値の分布を幅¹の階級で示している。
例えば、平均値 0.5 ～ 1.5 の欄に 10 という数値が表示されていれば、それはその質問への回答の平均値が 0.5 以上 1.5 未満であった授業が 10 あったことを示している。
また、それぞれの授業の平均値をすべて足し合わせ授業数で割った、「平均値の平均」も算出している。
学年別の集計は、当該学年の学生が 5 人以上回答した授業について、当該学年の回答や平均値を算出し、それを元に全体での集計と同様の処理を行ったものである。学部別、学科別の集計も同様である。

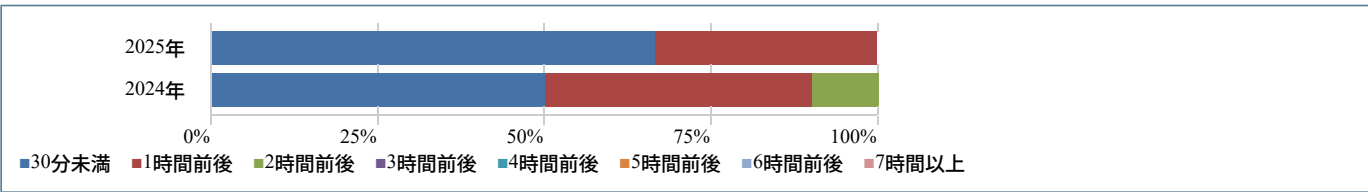
Q1.この授業を何回欠席しましたか

選択肢	0回	1回	2回	3回	4回以上	平均値 の平均
平均値	～0.5	～1.5	～2.5	～3.5	3.5～	
全体	8	1	0	0	0	0.29
	89%	11%	0%	0%	0%	



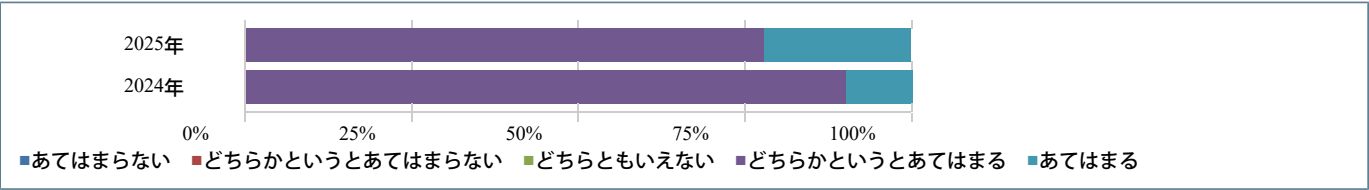
Q2.この授業の授業外学習（予習・復習・課題等）時間は、1週間で平均何時間でしたか

選択肢	30分未満	1時間前後	2時間前後	3時間前後	4時間前後	5時間前後	6時間前後	7時間以上	平均値 の平均
平均値	～0.5	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	～5.5	～6.5	6.5～	
全体	6	3	0	0	0	0	0	0	0.42
	67%	33%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	



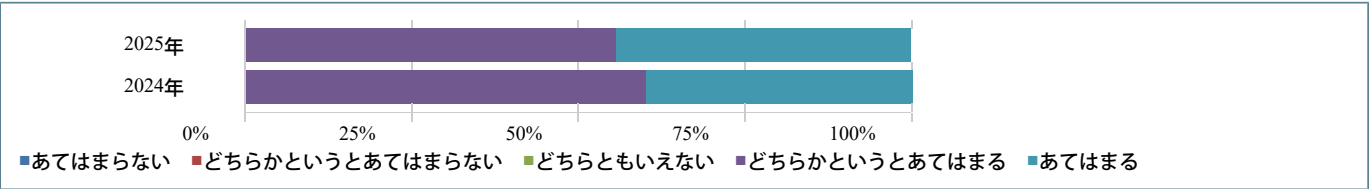
Q3.この授業に積極的に取り組んだ

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	7	2	4.37
	0%	0%	0%	78%	22%	



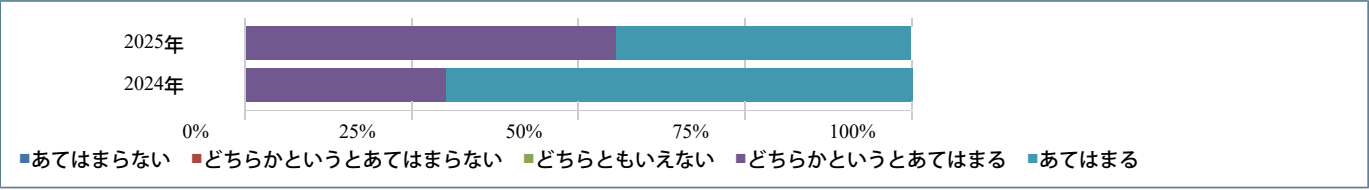
Q4.この授業の開始前にシラバスを読んだ

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	5	4	4.53
	0%	0%	0%	56%	44%	



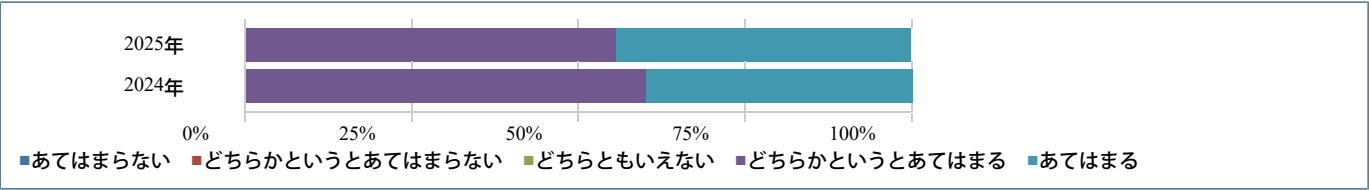
Q5.この授業の内容はシラバスに書かれているとおりだった

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	5	4	4.55
	0%	0%	0%	56%	44%	



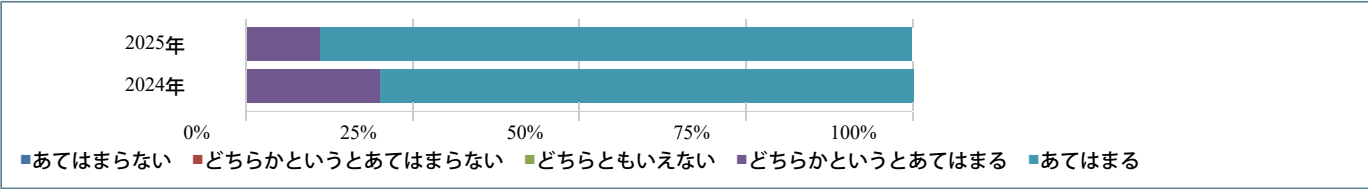
Q6.この授業の難易度は私に合っていた

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	5	4	4.40
	0%	0%	0%	56%	44%	



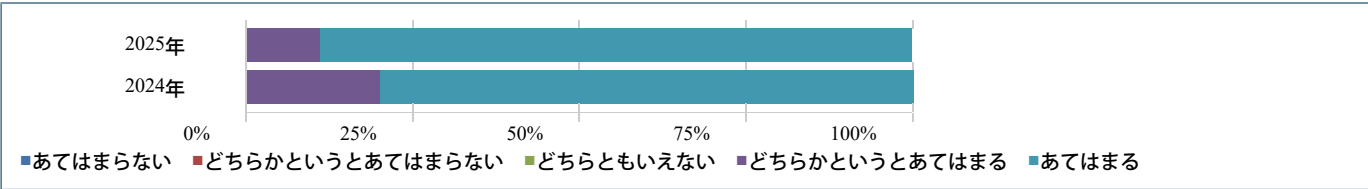
Q7.教員の言葉は聞き取りやすかった

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	1	8	4.77
	0%	0%	0%	11%	89%	



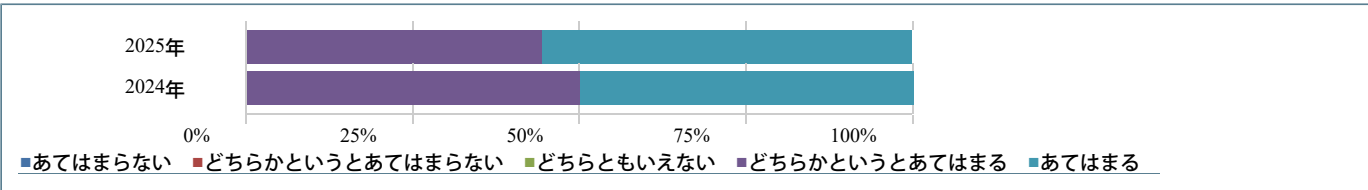
Q8.板書、プロジェクタ、プリント等の説明補助手段（遠隔授業ツールも含む）は授業内容の理解に役立った

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	1	8	4.69
	0%	0%	0%	11%	89%	



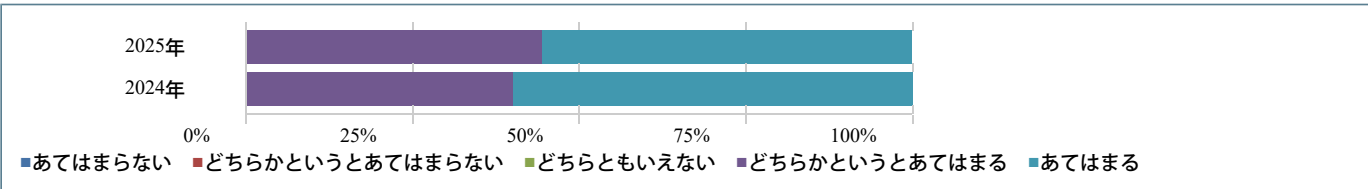
Q9.授業中は集中できる環境が維持されていた

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	4	5	4.55
	0%	0%	0%	44%	56%	



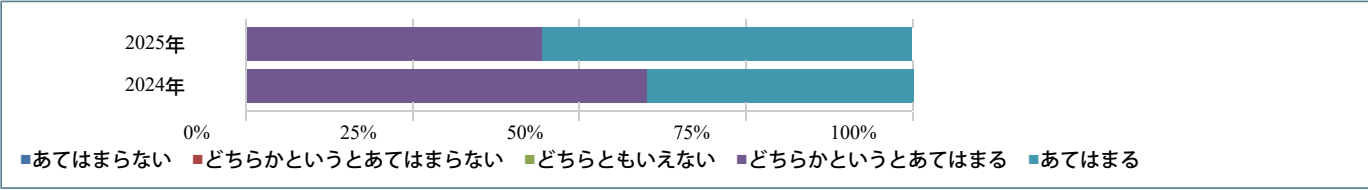
Q10.教員の説明は要領を得てわかりやすかった

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	4	5	4.56
	0%	0%	0%	44%	56%	



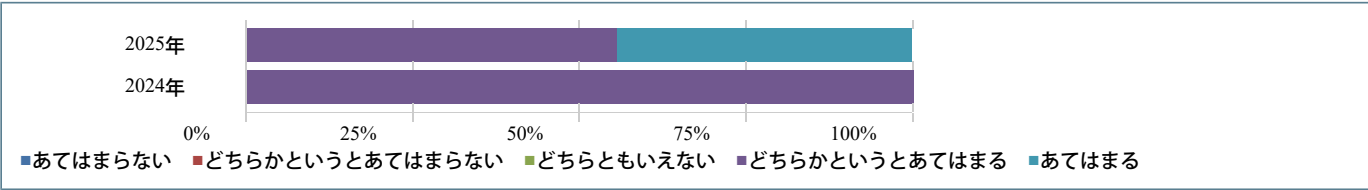
Q11.この授業の進む速さは私に合っていた

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	4	5	4.48
	0%	0%	0%	44%	56%	



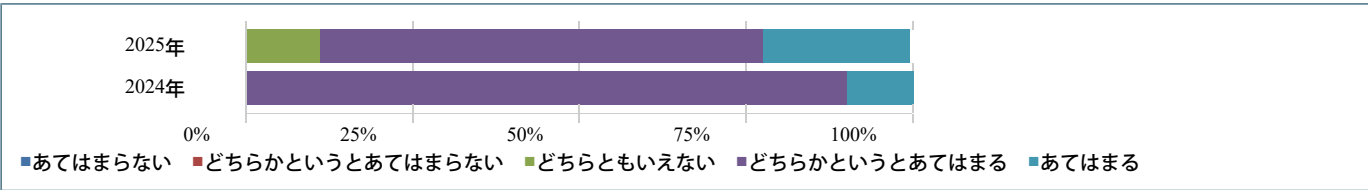
Q12.学生に質問をする機会が与えられた（オフィスアワーや質問の提出、遠隔授業のチャット機能等も含む）

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	5	4	4.28
	0%	0%	0%	56%	44%	



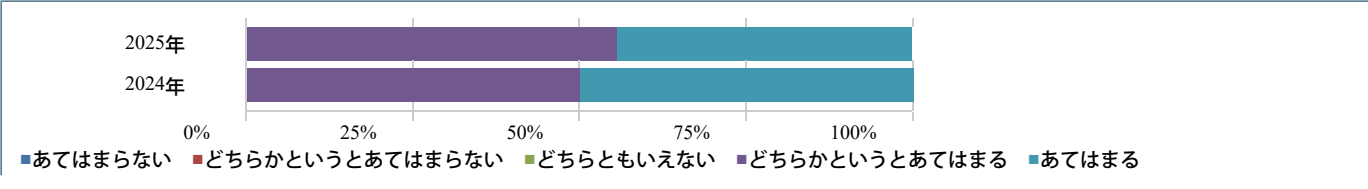
Q13.この授業の分野に対する興味関心が増した

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	1	6	2	4.07
	0%	0%	11%	67%	22%	



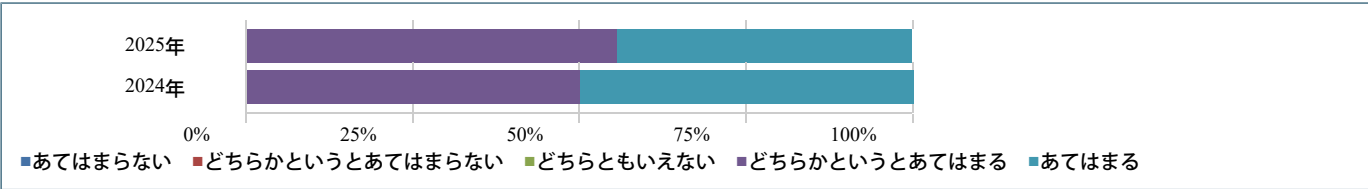
Q14.この授業を全体として理解できた

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	5	4	4.39
	0%	0%	0%	56%	44%	



Q15.総合的に判断して、この授業に満足した

選択肢	あてはまらない	どちらかというにあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというにあてはまる	あてはまる	平均値の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	5	4	4.41
	0%	0%	0%	56%	44%	



令和7年度 学生による授業評価 アンケート集計表

教養教育科目【実験科目】

2025年 前期 授業評価アンケート 教養教育 実験 集計表

授業数

	アンケート 対象授業数	回答授業数
実数	2	2
比率	—	100

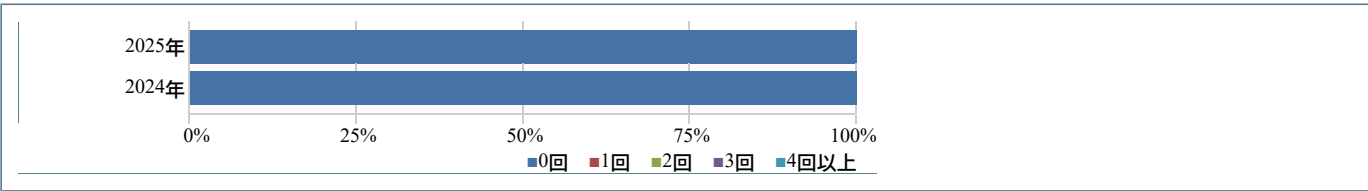
回答率

～10%	～20%	～30%	～40%	～50%	～60%	～70%	～80%	～90%	90%～	平均 回答率
0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	37%
0%	0%	0%	50%	50%	0%	0%	0%	0%	0%	—

以下の集計表は、それぞれの授業で集計した結果を元に、部局全体の傾向を示すために授業を単位として集計したものである。
それぞれの授業で各質問の回答の平均値を算出し、その平均値の分布を幅¹の階級で示している。
例えば、平均値 0.5 ～ 1.5 の欄に 10 という数値が表示されていれば、それはその質問への回答の平均値が 0.5 以上 1.5 未満であった授業が 10 あったことを示している。
また、それぞれの授業の平均値をすべて足し合わせ授業数で割った、「平均値の平均」も算出している。
学年別の集計は、当該学年の学生が 5 人以上回答した授業について、当該学年の回答や平均値を算出し、それを元に全体での集計と同様の処理を行ったものである。学部別、学科別の集計も同様である。

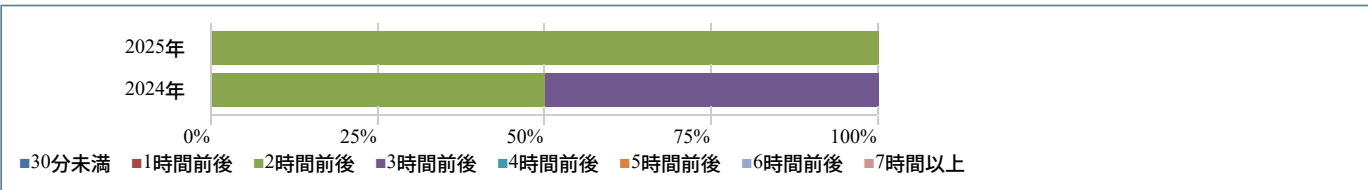
Q1.この授業を何回欠席しましたか

選択肢	0回	1回	2回	3回	4回以上	平均値 の平均
平均値	～0.5	～1.5	～2.5	～3.5	3.5～	
全体	2	0	0	0	0	0.03
	100%	0%	0%	0%	0%	



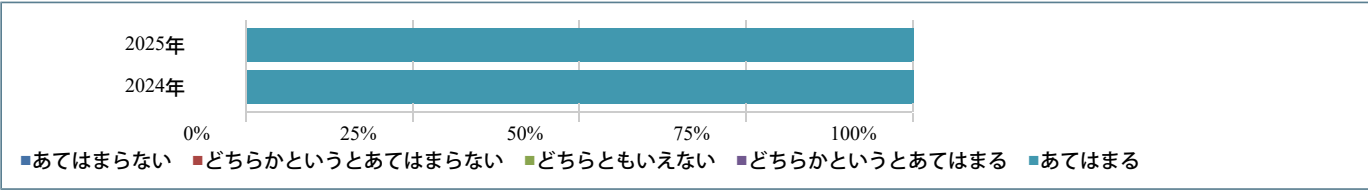
Q2.この授業の授業外学習（予習・復習・課題等）時間は、1週間で平均何時間でしたか

選択肢	30分未満	1時間前後	2時間前後	3時間前後	4時間前後	5時間前後	6時間前後	7時間以上	平均値 の平均
平均値	～0.5	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	～5.5	～6.5	6.5～	
全体	0	0	2	0	0	0	0	0	1.88
	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	



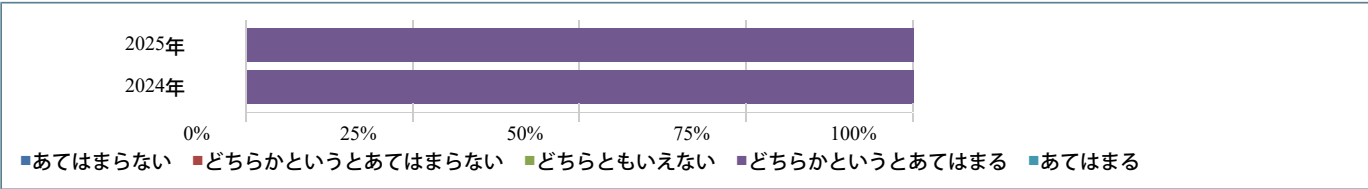
Q3.この授業に積極的に取り組んだ

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	0	2	4.71
	0%	0%	0%	0%	100%	



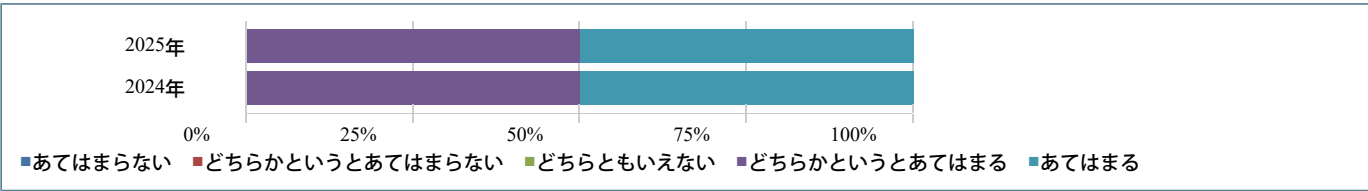
Q4.この授業の開始前にシラバスを読んだ

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	2	0	4.16
	0%	0%	0%	100%	0%	



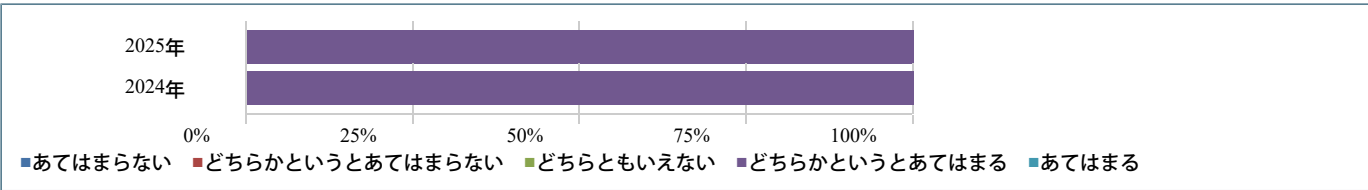
Q5.この授業の内容はシラバスに書かれているとおりだった

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	1	1	4.41
	0%	0%	0%	50%	50%	



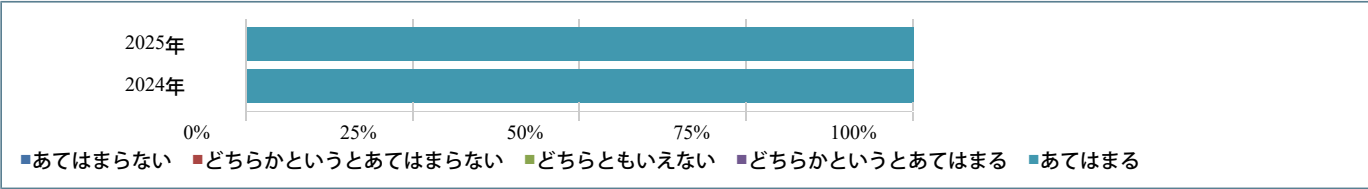
Q6.この授業の難易度は私に合っていた

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	2	0	4.30
	0%	0%	0%	100%	0%	



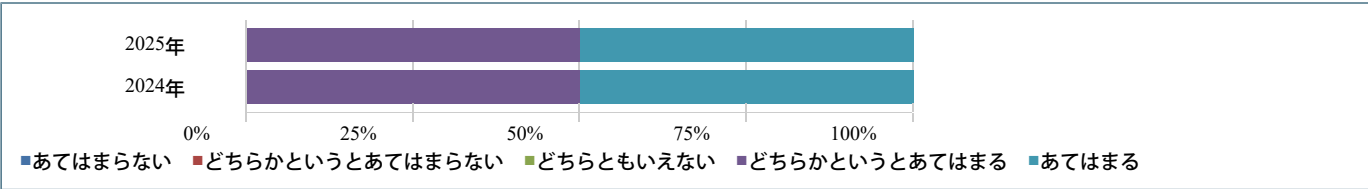
Q7.教員の言葉は聞き取りやすかった

選択肢	あてはまらない	どちらかというにあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというにあてはまる	あてはまる	平均値の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	0	2	4.69
	0%	0%	0%	0%	100%	



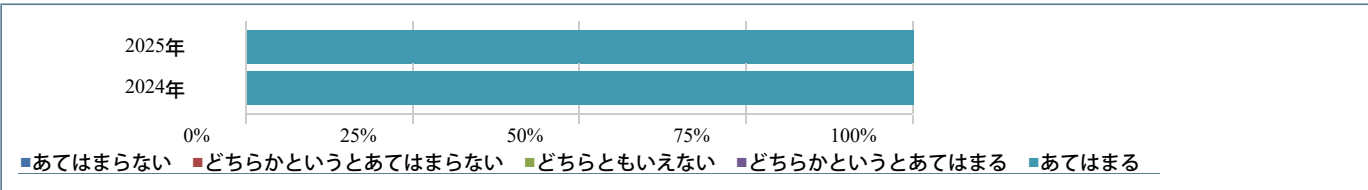
Q8.板書、プロジェクタ、プリント等の説明補助手段（遠隔授業ツールも含む）は授業内容の理解に役立った

選択肢	あてはまらない	どちらかというにあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというにあてはまる	あてはまる	平均値の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	1	1	4.58
	0%	0%	0%	50%	50%	



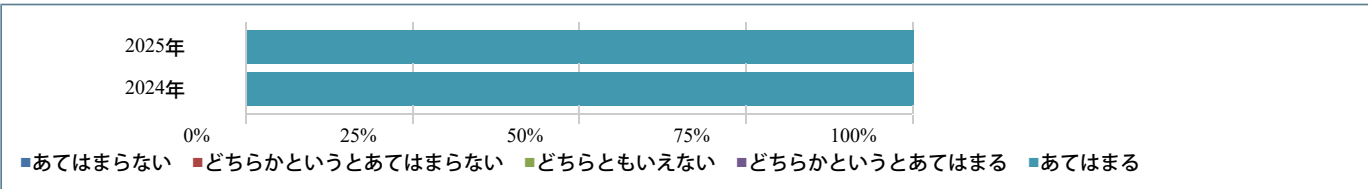
Q9.授業中は集中できる環境が維持されていた

選択肢	あてはまらない	どちらかというにあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというにあてはまる	あてはまる	平均値の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	0	2	4.60
	0%	0%	0%	0%	100%	



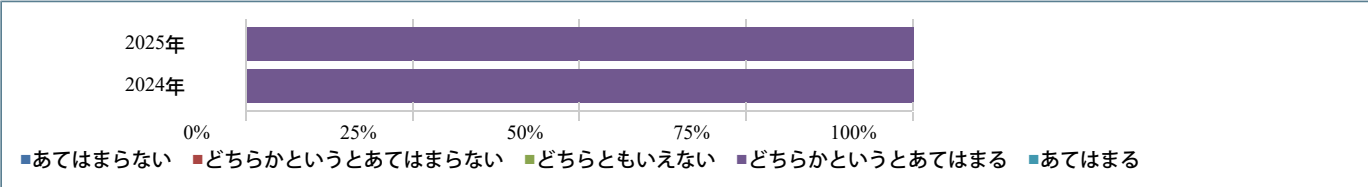
Q10.教員の説明は要領を得てわかりやすかった

選択肢	あてはまらない	どちらかというにあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというにあてはまる	あてはまる	平均値の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	0	2	4.64
	0%	0%	0%	0%	100%	



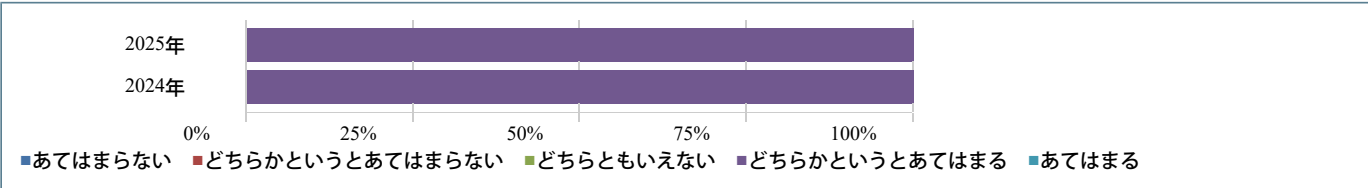
Q11.この授業の進む速さは私に合っていた

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	2	0	4.43
	0%	0%	0%	100%	0%	



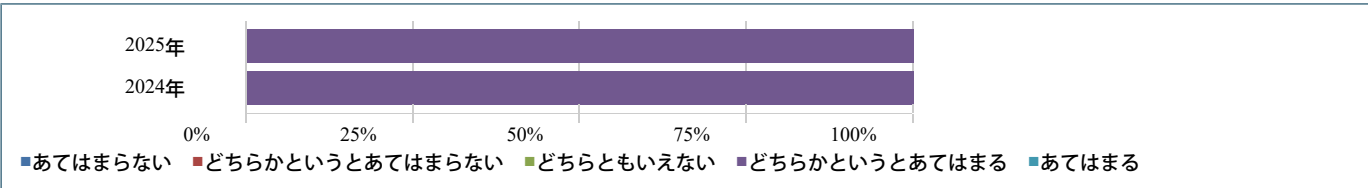
Q12.学生に質問をする機会が与えられた（オフィスアワーや質問の提出、遠隔授業のチャット機能等も含む）

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	2	0	4.24
	0%	0%	0%	100%	0%	



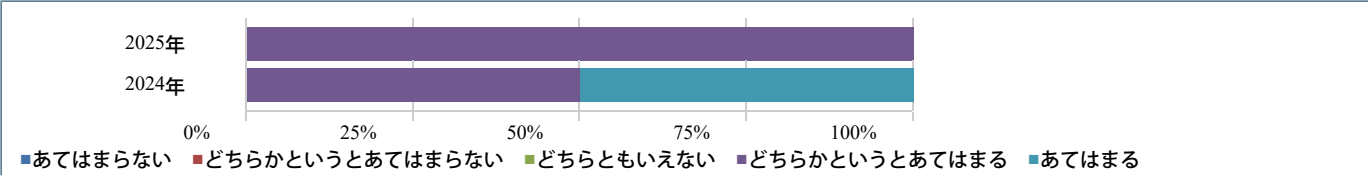
Q13.この授業の分野に対する興味関心が増した

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	2	0	4.42
	0%	0%	0%	100%	0%	



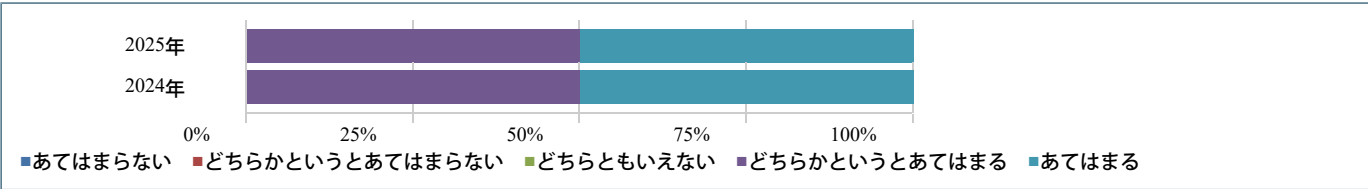
Q14.この授業を全体として理解できた

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	2	0	4.42
	0%	0%	0%	100%	0%	



Q15.総合的に判断して、この授業に満足した

選択肢	あてはまらない	どちらかというとあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというとあてはまる	あてはまる	平均値の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	1	1	4.59
	0%	0%	0%	50%	50%	



2025年 後期 授業評価アンケート 教養教育 実験 集計表

授業数

	アンケート 対象授業数	回答授業数
実数	2	2
比率	—	100

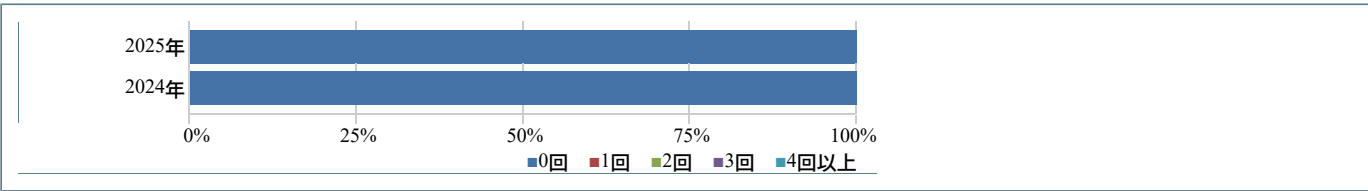
回答率

～10%	～20%	～30%	～40%	～50%	～60%	～70%	～80%	～90%	90%～	平均 回答率
0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	22%
0%	50%	50%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	—

以下の集計表は、それぞれの授業で集計した結果を元に、部局全体の傾向を示すために授業を単位として集計したものである。
それぞれの授業で各質問の回答の平均値を算出し、その平均値の分布を幅¹の階級で示している。
例えば、平均値 0.5 ～ 1.5 の欄に 10 という数値が表示されていれば、それはその質問への回答の平均値が 0.5 以上 1.5 未満であった授業が 10 あったことを示している。
また、それぞれの授業の平均値をすべて足し合わせ授業数で割った、「平均値の平均」も算出している。
学年別の集計は、当該学年の学生が 5 人以上回答した授業について、当該学年の回答や平均値を算出し、それを元に全体での集計と同様の処理を行ったものである。学部別、学科別の集計も同様である。

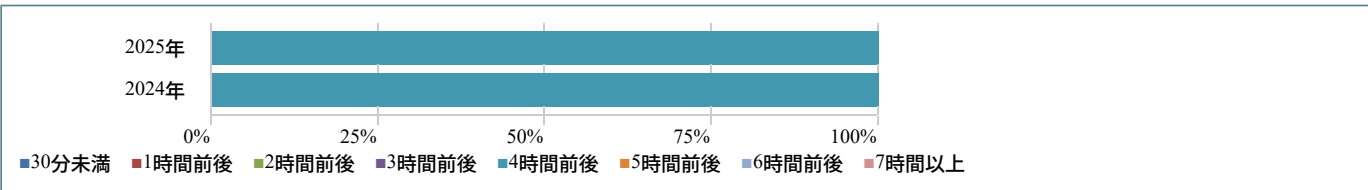
Q1.この授業を何回欠席しましたか

選択肢	0回	1回	2回	3回	4回以上	平均値 の平均
平均値	～0.5	～1.5	～2.5	～3.5	3.5～	
全体	2	0	0	0	0	0.06
	100%	0%	0%	0%	0%	



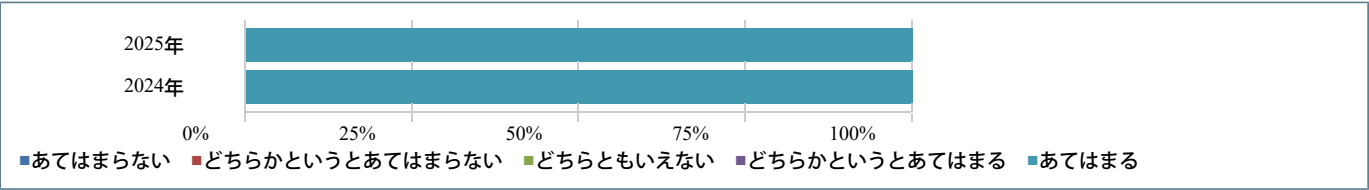
Q2.この授業の授業外学習（予習・復習・課題等）時間は、1週間で平均何時間でしたか

選択肢	30分未満	1時間前後	2時間前後	3時間前後	4時間前後	5時間前後	6時間前後	7時間以上	平均値 の平均
平均値	～0.5	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	～5.5	～6.5	6.5～	
全体	0	0	0	0	2	0	0	0	4.16
	0%	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	



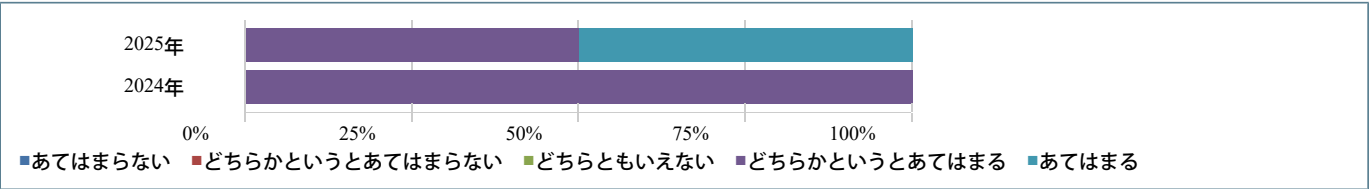
Q3.この授業に積極的に取り組んだ

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	0	2	4.79
	0%	0%	0%	0%	100%	



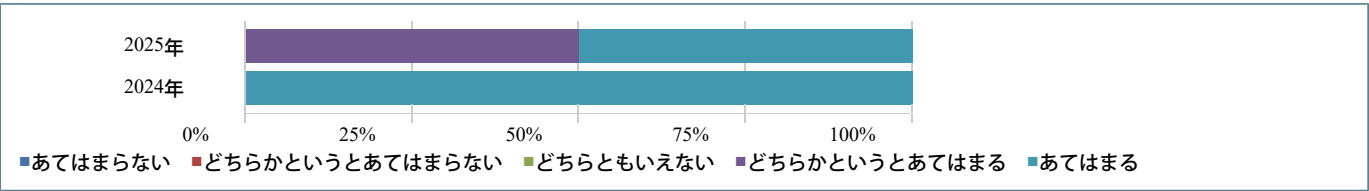
Q4.この授業の開始前にシラバスを読んだ

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	1	1	4.42
	0%	0%	0%	50%	50%	



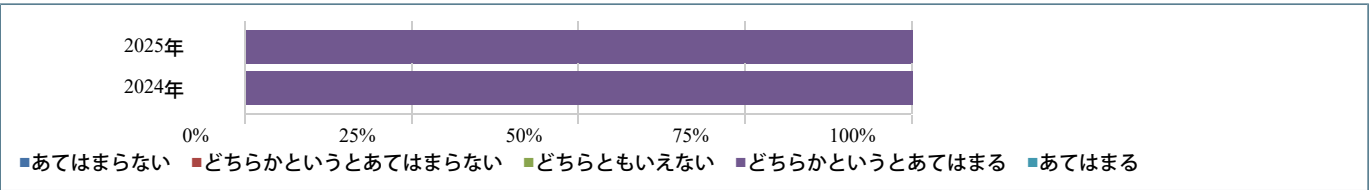
Q5.この授業の内容はシラバスに書かれているとおりだった

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	1	1	4.50
	0%	0%	0%	50%	50%	



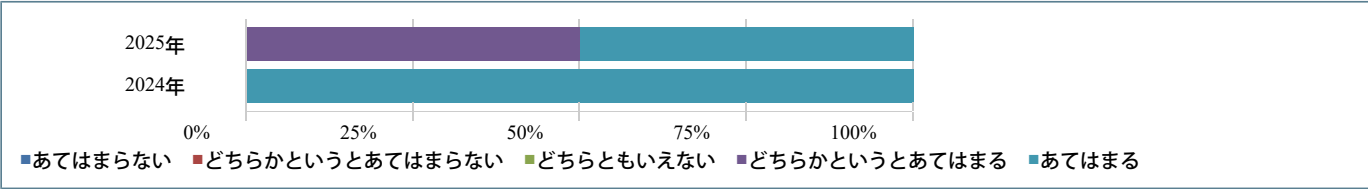
Q6.この授業の難易度は私に合っていた

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	2	0	4.07
	0%	0%	0%	100%	0%	



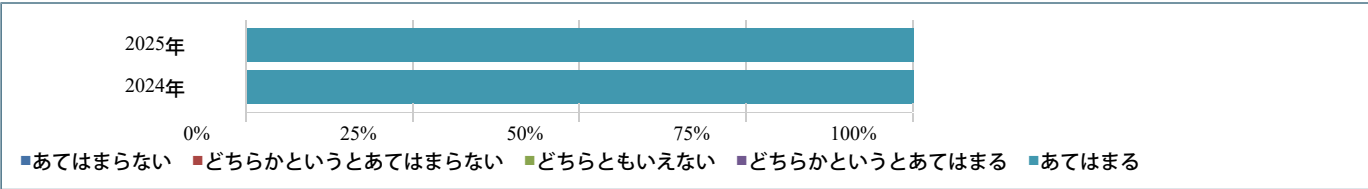
Q7.教員の言葉は聞き取りやすかった

選択肢	あてはまらない	どちらかというにあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというにあてはまる	あてはまる	平均値の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	1	1	4.49
	0%	0%	0%	50%	50%	



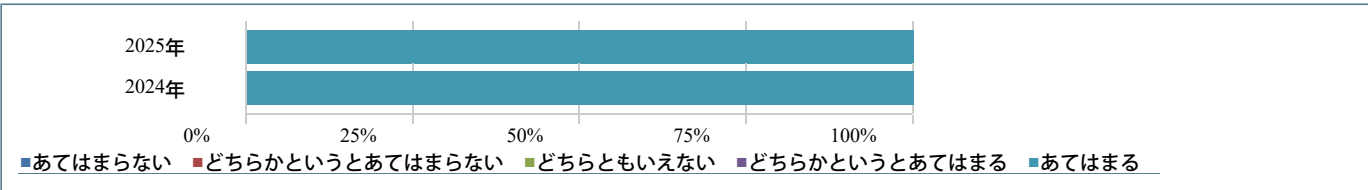
Q8.板書、プロジェクタ、プリント等の説明補助手段（遠隔授業ツールも含む）は授業内容の理解に役立った

選択肢	あてはまらない	どちらかというにあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというにあてはまる	あてはまる	平均値の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	0	2	4.73
	0%	0%	0%	0%	100%	



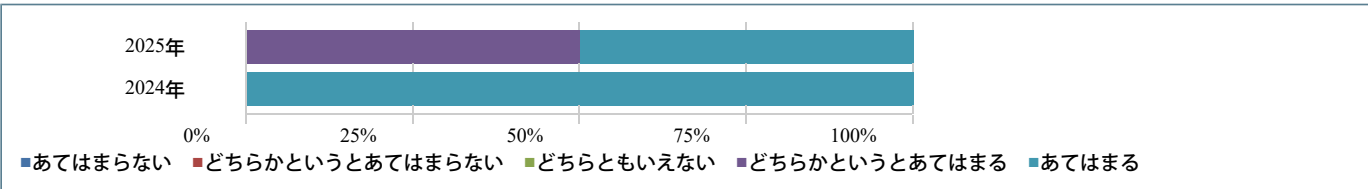
Q9.授業中は集中できる環境が維持されていた

選択肢	あてはまらない	どちらかというにあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというにあてはまる	あてはまる	平均値の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	0	2	4.74
	0%	0%	0%	0%	100%	



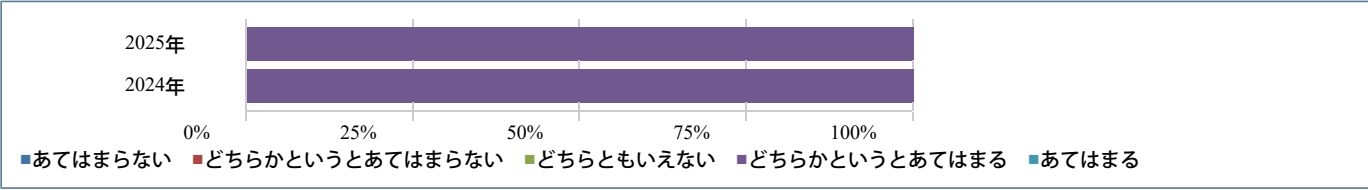
Q10.教員の説明は要領を得てわかりやすかった

選択肢	あてはまらない	どちらかというにあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというにあてはまる	あてはまる	平均値の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	1	1	4.45
	0%	0%	0%	50%	50%	



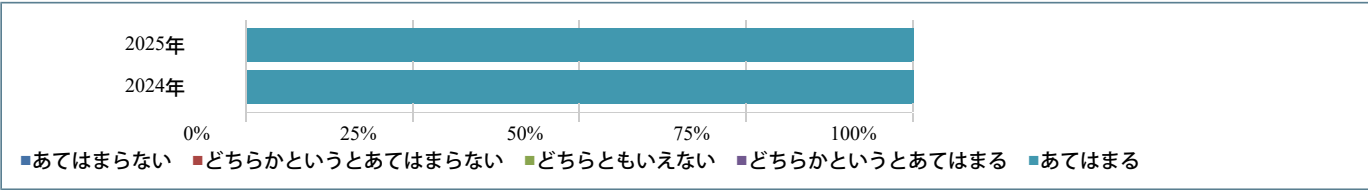
Q11.この授業の進む速さは私に合っていた

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	2	0	4.15
	0%	0%	0%	100%	0%	



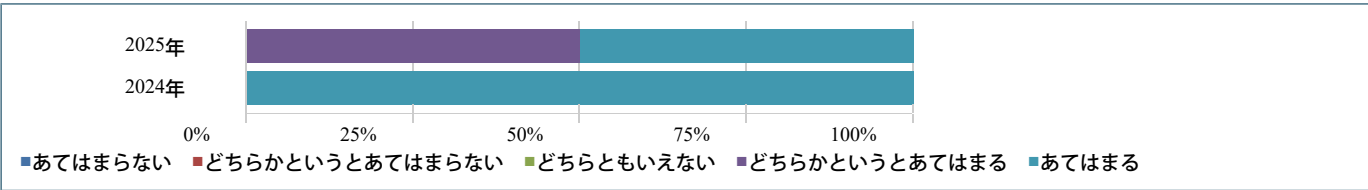
Q12.学生に質問をする機会が与えられた（オフィスアワーや質問の提出、遠隔授業のチャット機能等も含む）

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	0	2	4.69
	0%	0%	0%	0%	100%	



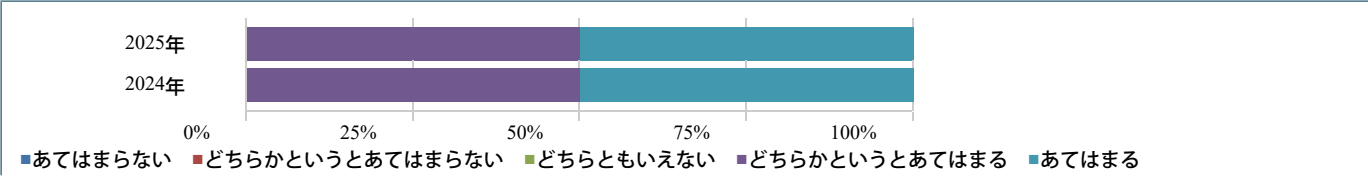
Q13.この授業の分野に対する興味関心が増した

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	1	1	4.51
	0%	0%	0%	50%	50%	



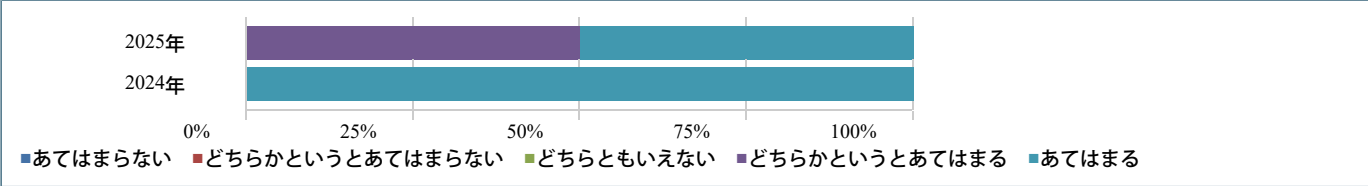
Q14.この授業を全体として理解できた

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	1	1	4.48
	0%	0%	0%	50%	50%	



Q15.総合的に判断して、この授業に満足した

選択肢	あてはまらない	どちらかというとあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというとあてはまる	あてはまる	平均値の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	1	1	4.49
	0%	0%	0%	50%	50%	



参考資料

学生による授業評価 アンケート設問

令和7年度学生による授業評価アンケート（部局独自項目）

【講義科目用・健康スポーツ講義用】

- 1) 授業内容に対してクラス規模は適切であった
 1. あてはまらない
 2. どちらかというにあてはまらない
 3. どちらともいえない
 4. どちらかというにあてはまる
 5. あてはまる
- 2) あなたが主体的に学ぶための工夫があった
 1. あてはまらない
 2. どちらかというにあてはまらない
 3. どちらともいえない
 4. どちらかというにあてはまる
 5. あてはまる
- 3) 他の学生との意見交換やコミュニケーションを行う機会が設けられていた
 1. あてはまらない
 2. どちらかというにあてはまらない
 3. どちらともいえない
 4. どちらかというにあてはまる
 5. あてはまる

【健康スポーツ実技用】

- 1) 授業内容に対してクラス規模は適切であった
 1. あてはまらない
 2. どちらかというにあてはまらない
 3. どちらともいえない
 4. どちらかというにあてはまる
 5. あてはまる
- 2) 施設・設備、用具は満足のいくものだった
 1. あてはまらない
 2. どちらかというにあてはまらない
 3. どちらともいえない
 4. どちらかというにあてはまる
 5. あてはまる
- 3) 担当教員は学生の安全に配慮していた
 1. あてはまらない
 2. どちらかというにあてはまらない
 3. どちらともいえない
 4. どちらかというにあてはまる
 5. あてはまる
- 4) なぜこの種目を選んだか（該当するものをいくつでも）
 1. この種目に興味があったから
 2. 友人と一緒に受けられるから
 3. 他に選択の余地がなかったから
 4. この種目が実用的であるから
 5. 教員免許取得のために必要だったから

【実験科目用】

1) 授業内容に対してクラス規模は適切であった

- 1. あてはまらない 2. どちらかというにあてはまらない
- 3. どちらともいえない 4. どちらかというにあてはまる
- 5. あてはまる

2) 施設・設備、用具は満足のいくものだった

- 1. あてはまらない 2. どちらかというにあてはまらない
- 3. どちらともいえない 4. どちらかというにあてはまる
- 5. あてはまる

3) 担当教員は学生の安全に配慮していた

- 1. あてはまらない 2. どちらかというにあてはまらない
- 3. どちらともいえない 4. どちらかというにあてはまる
- 5. あてはまる